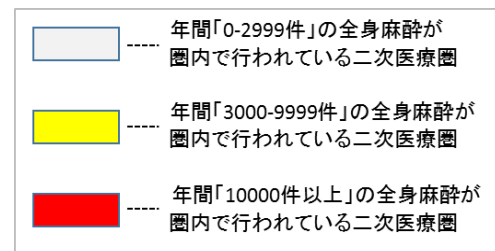
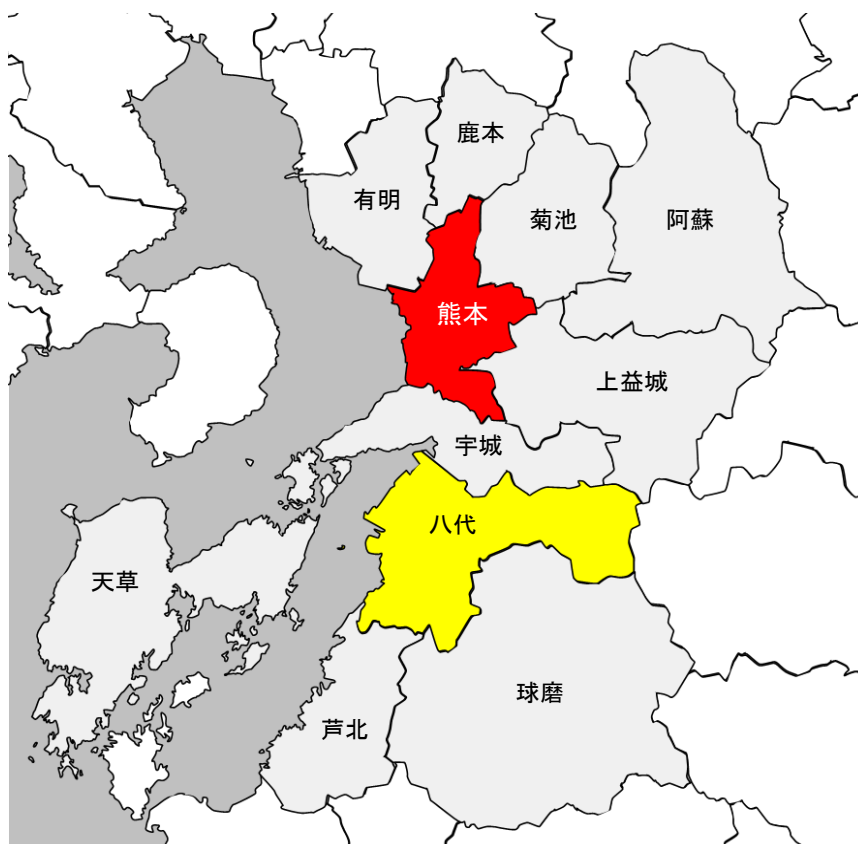


43. 熊本県

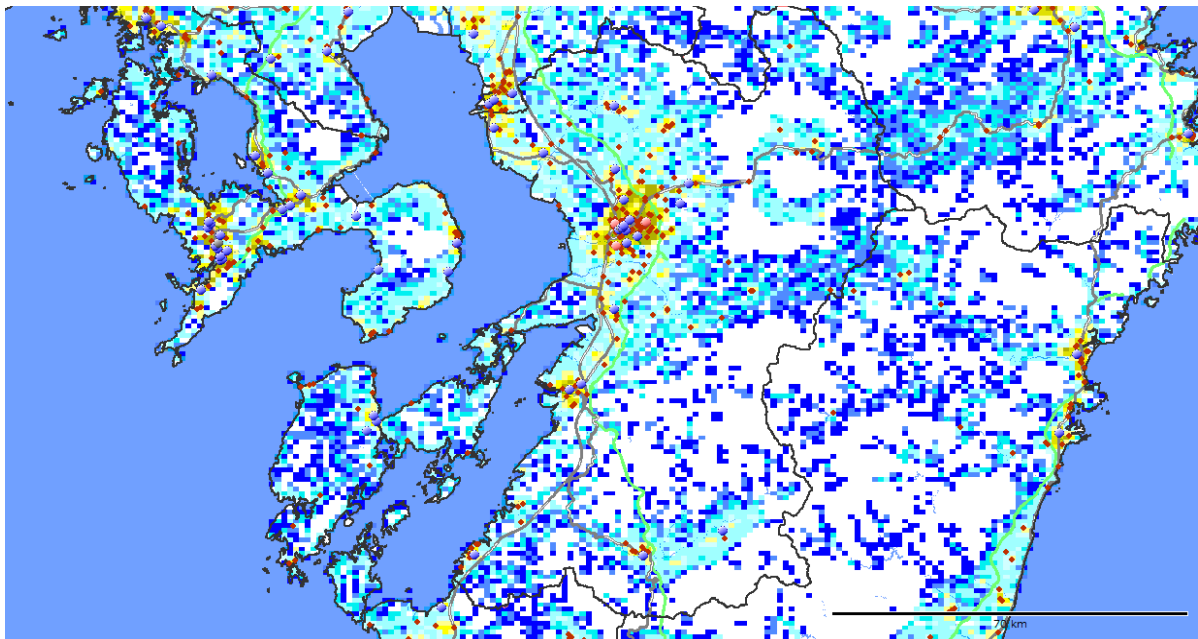


目次

熊本県	43	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	43	-	8
1. 熊本医療圏	43	-	26
2. 宇城医療圏	43	-	31
3. 有明医療圏	43	-	36
4. 鹿本医療圏	43	-	41
5. 菊池医療圏	43	-	46
6. 阿蘇医療圏	43	-	51
7. 上益城医療圏	43	-	56
8. 八代医療圏	43	-	61
9. 芦北医療圏	43	-	66
10. 球磨医療圏	43	-	71
11. 天草医療圏	43	-	76

43. 熊本県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(熊本県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 熊本県は、総人口約1786千人(2015年)、面積7409km²、人口密度は241人/km²である。

*人口の将来予測： 熊本県の総人口は2025年に1666千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に1467千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の274千人が、2025年にかけて321千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には336千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 熊本県の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 熊本県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.21、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.14で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が54(病院医師数55、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 熊本県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26809人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が18640床(偏差値55)、高齢者住宅等が8169床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21350人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム42、軽費ホーム44、グループホーム49、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、3831人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

熊本県の総人口は、2005年1842233人が、2015年に1786170人と3%減少し、2025年の人口が1666017人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

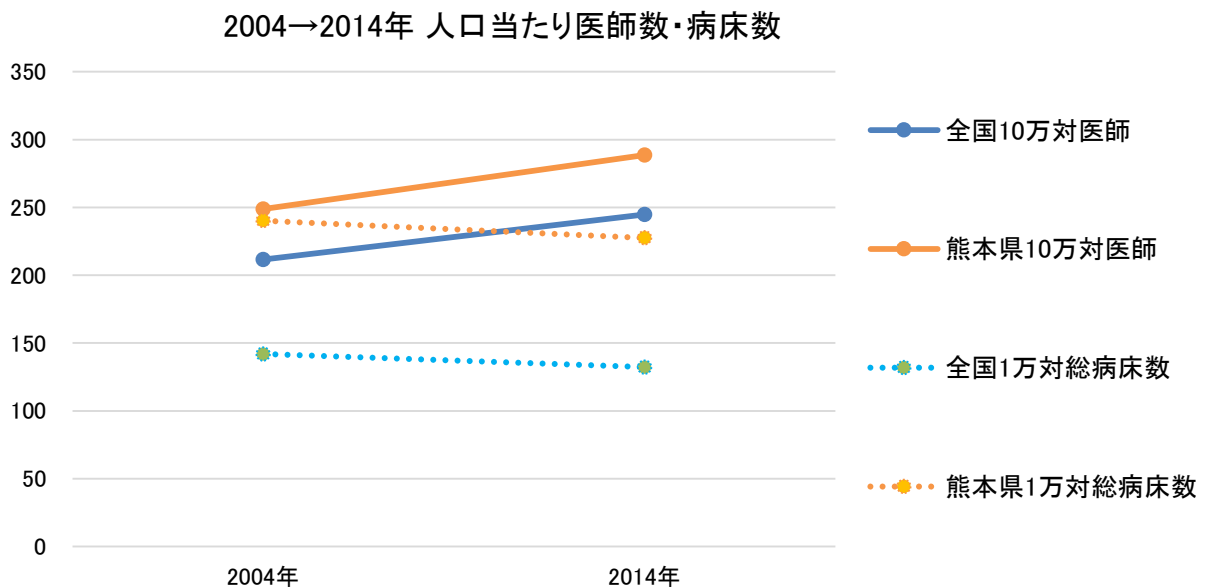
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が223(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に214(人口10万人当たり12病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1485(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に1471(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、14診療所が減少した。

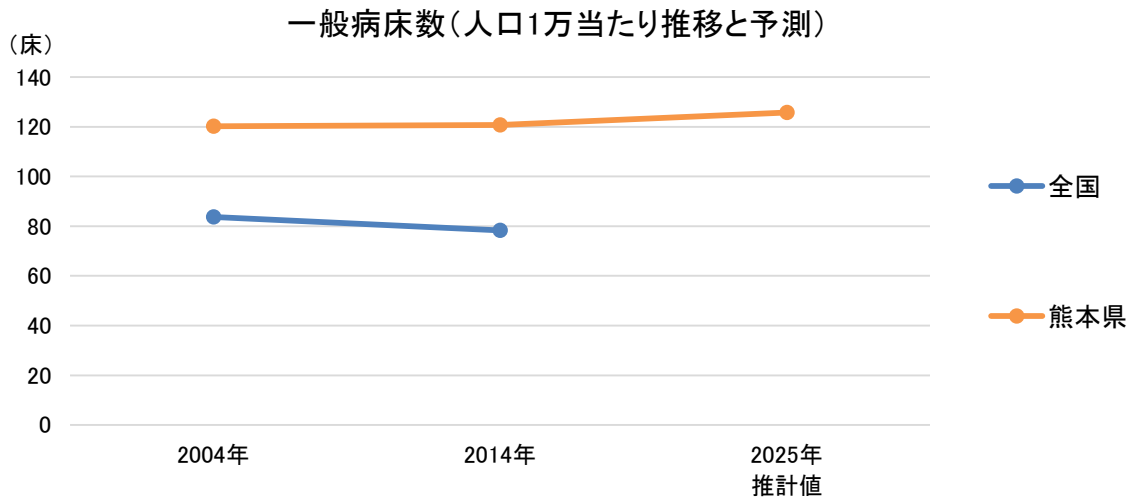
2004年の総病床数が44270床(人口1万人当たり240(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に40637床(人口1万人当たり228(全国平均132)偏差値67)と、3633床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が4584人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に5156人(人口10万人当たり289人(全国平均245人)偏差値55)と、572人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



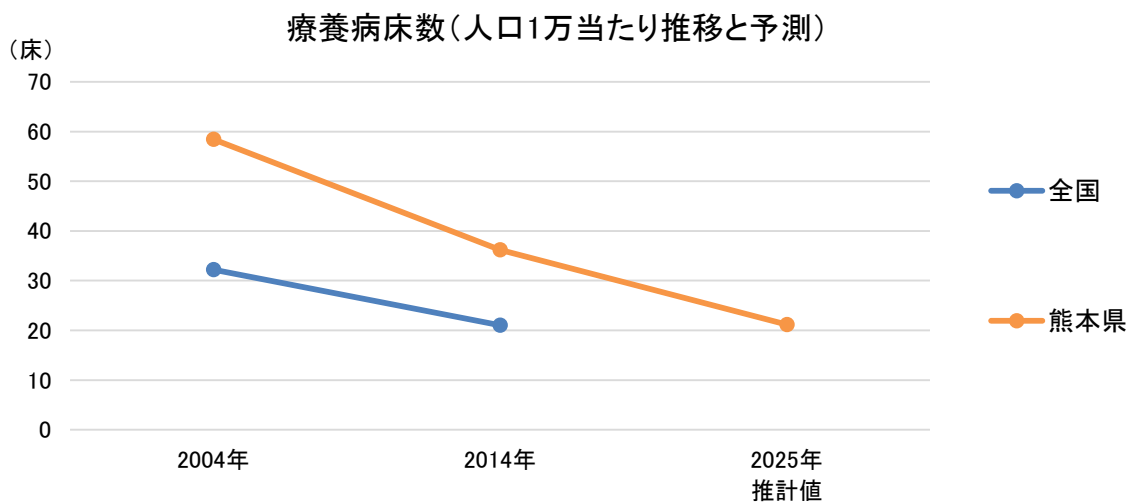
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が22141床(人口1万人当たり120(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に21569床(人口1万人当たり121(全国平均78)偏差値66)と、572床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には20940床(2025年の推計人口1万人当たり126)になることが予想される。



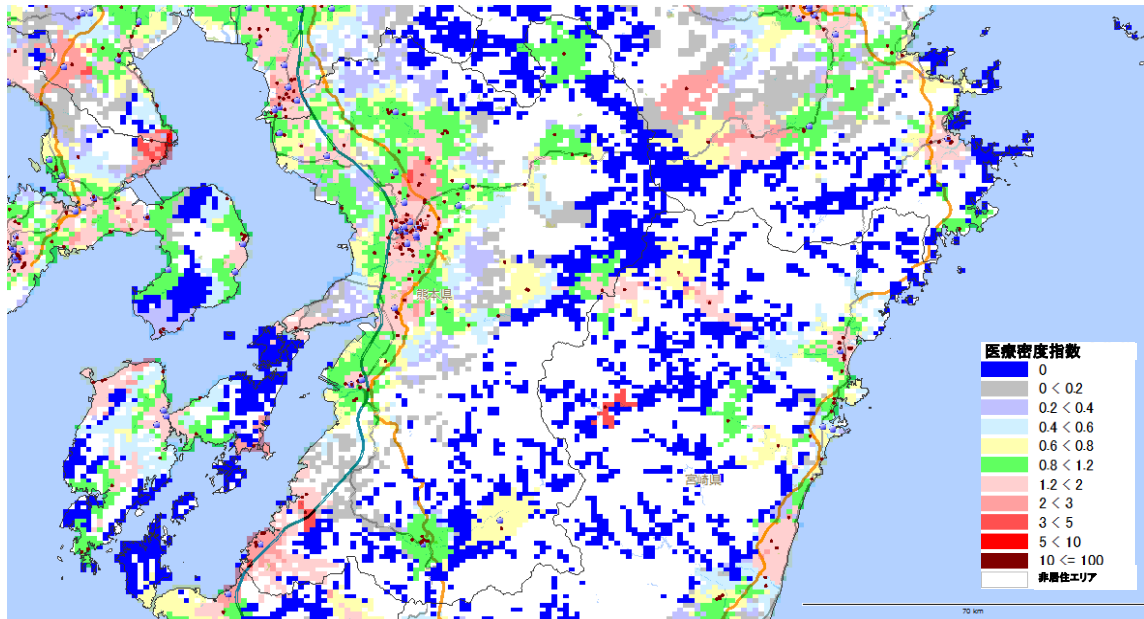
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12775床(75歳以上1000人当たり58(全国平均32)偏差値65)であったが、2014年に9923床(75歳以上1000人当たり36(全国平均21)偏差値63)と、2852床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6784床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。



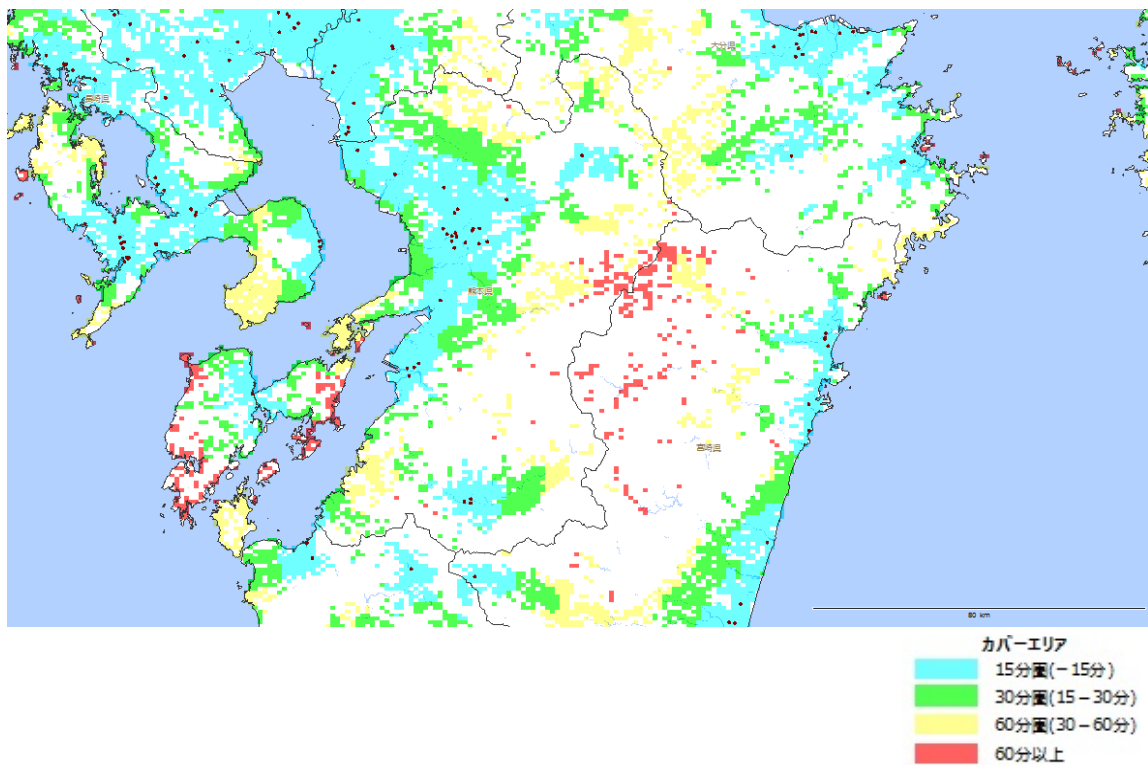
(熊本県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 43-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
熊本県	1,786	23位	7,409	15位	241.1		29%	1,666	1,467	274	321	336	-7%	-12%	17%	5%
熊本	741	41%	390	5%	1,898.0	地方都市型	24%	715	659	89	117	134	-4%	-8%	31%	15%
宇城	107	6%	407	5%	263.2	地方都市型	31%	99	85	18	21	22	-7%	-14%	17%	5%
有明	161	9%	421	6%	382.8	地方都市型	32%	148	125	28	32	31	-8%	-16%	14%	-3%
鹿本	52	3%	300	4%	174.4	過疎地域型	35%	47	39	10	11	11	-10%	-17%	10%	0%
菊池	181	10%	467	6%	387.9	地方都市型	24%	179	175	22	28	32	-1%	-2%	27%	14%
阿蘇	64	4%	1,080	15%	59.6	過疎地域型	35%	59	49	13	14	14	-8%	-17%	8%	0%
上益城	86	5%	784	11%	109.4	過疎地域型	32%	78	67	15	17	17	-9%	-14%	13%	0%
八代	139	8%	715	10%	195.1	過疎地域型	32%	124	102	24	27	26	-11%	-18%	13%	-4%
芦北	48	3%	431	6%	110.7	過疎地域型	38%	40	31	10	11	9	-17%	-23%	10%	-18%
球磨	89	5%	1,537	21%	57.8	過疎地域型	35%	78	62	18	18	17	-12%	-21%	0%	-6%
天草	117	7%	878	12%	133.8	過疎地域型	37%	99	74	25	25	24	-15%	-25%	0%	-4%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 43-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
熊本県	1.21	2.14	23,832	26,128	-9.6%
熊本	1.57	2.24	7,568	9,527	-25.9%
宇城	0.91	1.99	1,672	1,694	-1.3%
有明	0.91	1.19	2,277	2,596	-14.0%
鹿本	0.70	1.09	784	913	-16.5%
菊池	0.91	2.77	1,861	2,252	-21.0%
阿蘇	0.48	2.52	1,325	1,154	12.9%
上益城	0.84	1.83	1,402	1,399	0.2%
八代	1.29	2.39	1,950	2,191	-12.4%
芦北	1.94	2.37	1,084	861	20.5%
球磨	0.95	4.56	1,603	1,485	7.4%
天草	0.86	1.65	2,306	2,055	10.9%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の数目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 43-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
熊本県	382	59	1.118	166	62	1.274	195	53	1.040	285	59
熊本	361	54	1.096	154	58	1.229	185	48	1.026	279	57
宇城	385	59	1.116	168	62	1.275	196	54	1.041	279	57
有明	413	66	1.159	180	67	1.329	209	61	1.071	294	62
鹿本	390	61	1.113	179	66	1.343	188	50	0.979	281	58
菊池	372	56	1.108	160	60	1.259	189	50	1.026	278	57
阿蘇	362	54	1.041	160	60	1.204	182	46	0.955	286	59
上益城	377	58	1.080	167	62	1.257	188	50	0.985	278	57
八代	375	57	1.101	162	61	1.250	192	52	1.030	296	62
芦北	549	96	1.434	248	90	1.697	281	100	1.338	282	58
球磨	382	59	1.069	152	57	1.118	207	60	1.057	308	66
天草	415	66	1.163	187	69	1.374	207	60	1.062	291	61

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表43-35を参照。

資_図表 43-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
熊本県	214	2.5%	12.0	63	1,469	1.5%	82	51
熊本	94	44%	12.7	65	624	42%	84	53
宇城	12	6%	11.2	61	70	5%	65	42
有明	12	6%	7.4	52	130	9%	81	51
鹿本	6	3%	11.5	62	43	3%	82	51
菊池	16	7%	8.8	55	133	9%	73	47
阿蘇	6	3%	9.3	56	45	3%	70	45
上益城	13	6%	15.2	71	61	4%	71	46
八代	13	6%	9.3	56	131	9%	94	58
芦北	11	5%	23.0	90	48	3%	101	61
球磨	13	6%	14.6	69	82	6%	92	57
天草	18	8%	15.3	71	102	7%	87	54

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

43.熊本県(2017年版)

資_図表 43-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,995		79	(18.8)			73	(18.4)			6.3	(6.4)
熊本県	1,469	1.5%	82	51	1,137	1.2%	64	45	332	4.2%	18.6	69
熊本	624	42%	84	53	500	44%	67	47	124	37%	16.7	66
宇城	70	5%	65	42	53	5%	49	37	17	5%	15.9	65
有明	130	9%	81	51	96	8%	60	43	34	10%	21.1	73
鹿本	43	3%	82	51	30	3%	57	41	13	4%	24.9	79
菊池	133	9%	73	47	113	10%	62	44	20	6%	11.1	58
阿蘇	45	3%	70	45	35	3%	54	40	10	3%	15.5	65
上益城	61	4%	71	46	49	4%	57	41	12	4%	14.0	62
八代	131	9%	94	58	95	8%	68	47	36	11%	25.8	81
芦北	48	3%	101	61	34	3%	71	49	14	4%	29.3	86
球磨	82	6%	92	57	64	6%	72	49	18	5%	20.3	72
天草	102	7%	87	54	68	6%	58	42	34	10%	28.9	86
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 43-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,565,968		1,232	(497)			85	(101)			1,317	(557)
熊本県	35,174	2.2%	1,969	65	5,247	4.9%	294	71	40,421	2.4%	2,263	67
熊本	15,526	44%	2,096	67	1,903	36%	257	67	17,429	43%	2,353	69
宇城	1,903	5%	1,777	61	281	5%	262	68	2,184	5%	2,039	63
有明	2,521	7%	1,563	57	547	10%	339	75	3,068	8%	1,902	61
鹿本	840	2%	1,607	58	232	4%	444	85	1,072	3%	2,051	63
菊池	3,683	10%	2,035	66	338	6%	187	60	4,021	10%	2,222	66
阿蘇	971	3%	1,508	56	169	3%	262	68	1,140	3%	1,770	58
上益城	1,264	4%	1,474	55	198	4%	231	64	1,462	4%	1,705	57
八代	2,434	7%	1,745	60	552	11%	396	81	2,986	7%	2,141	65
芦北	1,558	4%	3,263	91	229	4%	480	89	1,787	4%	3,743	94
球磨	1,594	5%	1,795	61	266	5%	299	71	1,860	5%	2,094	64
天草	2,880	8%	2,451	75	532	10%	453	86	3,412	8%	2,904	79
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 43-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
熊本県	16,775	1.9%	939	60	9,254	2.8%	518	62	8,943	2.7%	501	61
熊本	8,586	51%	1,159	70	3,650	39%	493	61	3,251	36%	439	58
宇城	726	4%	678	49	477	5%	445	59	647	7%	604	66
有明	778	5%	482	40	763	8%	473	60	976	11%	605	66
鹿本	375	2%	718	51	221	2%	423	58	240	3%	459	59
菊池	2,316	14%	1,280	75	468	5%	259	50	895	10%	495	61
阿蘇	313	2%	486	40	384	4%	596	66	270	3%	419	57
上益城	301	2%	351	34	576	6%	672	70	387	4%	451	59
八代	1,053	6%	755	52	561	6%	402	57	786	9%	564	64
芦北	779	5%	1,632	91	395	4%	827	77	380	4%	796	74
球磨	622	4%	700	50	564	6%	635	68	404	5%	455	59
天草	926	6%	788	54	1,195	13%	1,017	86	707	8%	602	66
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 43-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
熊本県	1,895	2.6%	106	60	1,982	3.2%	111	59
熊本	1,127	59%	152	70	1,045	53%	141	65
宇城	96	5%	90	57	105	5%	98	57
有明	148	8%	92	57	77	4%	48	48
鹿本	75	4%	144	68	53	3%	101	58
菊池	212	11%	117	63	249	13%	138	64
阿蘇	0	0%	0	38	41	2%	64	51
上益城	101	5%	118	63	77	4%	90	56
八代	61	3%	44	47	16	1%	11	42
芦北	45	2%	94	58	70	4%	147	66
球磨	30	2%	34	45	121	6%	136	64
天草	0	0%	0	38	128	6%	109	59
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

43.熊本県(2017年版)

資_図表 43-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
熊本県	9,853	8,826	397	25,315	7,978	8,826	52.5%	50	4.3%	48
熊本	3,826	3,410	104	11,706	5,196	3,532	39.6%	45	2.9%	47
宇城	444	395	0	1,459	331	477	54.4%	51	0.0%	46
有明	674	632	42	1,847	150	721	80.8%	62	5.5%	48
鹿本	201	197	0	639	178	221	52.5%	50	0.0%	46
菊池	1,601	1,434	0	2,095	895	468	61.6%	54	0.0%	46
阿蘇	199	195	0	772	118	384	62.3%	54	0.0%	46
上益城	57	57	0	1,207	244	576	18.9%	36	0.0%	46
八代	850	816	0	1,584	237	561	77.5%	60	0.0%	46
芦北	671	667	0	887	112	395	85.6%	64	0.0%	46
球磨	451	447	0	1,118	169	545	72.6%	58	0.0%	46
天草	879	576	251	2,001	348	946	62.3%	54	21.0%	55
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 43-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
熊本県	45,864	1.6%	2,568	53	17,652	1.7%	988	56
熊本	30,672	67%	4,140	69	9,156	52%	1,236	65
宇城	816	2%	762	36	1,404	8%	1,311	68
有明	2,556	6%	1,584	44	948	5%	588	42
鹿本	660	1%	1,263	41	72	0%	138	26
菊池	2,472	5%	1,366	42	2,280	13%	1,260	66
阿蘇	24	0%	37	29	228	1%	354	34
上益城	84	0%	98	29	312	2%	364	34
八代	4,536	10%	3,252	60	1,212	7%	869	52
芦北	564	1%	1,181	40	312	2%	653	45
球磨	1,800	4%	2,027	48	900	5%	1,013	57
天草	1,680	4%	1,430	42	828	5%	705	46
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
熊本県	5,432	1.6%	304	54	3,557	1.7%	199	55	1,875	1.4%	105	51
熊本	3,089	57%	417	66	2,243	63%	303	71	846	45%	114	54
宇城	211	4%	197	42	115	3%	107	41	96	5%	89	46
有明	349	6%	217	44	173	5%	107	41	177	9%	109	52
鹿本	122	2%	233	46	68	2%	130	44	54	3%	103	50
菊池	363	7%	200	42	192	5%	106	40	170	9%	94	47
阿蘇	124	2%	193	41	61	2%	94	39	64	3%	99	49
上益城	155	3%	180	40	92	3%	107	41	63	3%	73	40
八代	355	7%	255	48	205	6%	147	47	150	8%	107	52
芦北	155	3%	325	56	107	3%	223	58	49	3%	102	50
球磨	209	4%	235	46	123	3%	138	45	86	5%	97	48
天草	301	6%	256	48	180	5%	153	48	121	6%	103	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
熊本県	196	1.3%	11.0	48	166	1.3%	9.3	49	157	1.5%	8.8	52
熊本	118	60%	15.9	56	103	62%	13.9	59	105	67%	14.2	66
宇城	14	7%	13.1	51	6	4%	5.6	41	4	3%	3.7	38
有明	12	6%	7.4	42	8	5%	5.0	39	9	6%	5.6	43
鹿本	3	2%	5.7	40	1	1%	1.9	32	4	3%	7.7	48
菊池	17	9%	9.4	45	14	8%	7.7	45	4	3%	2.2	34
阿蘇	1	1%	1.6	33	2	1%	3.1	35	1	1%	1.6	32
上益城	6	3%	7.0	42	4	2%	4.7	38	4	3%	4.7	40
八代	8	4%	5.7	40	8	5%	5.7	41	10	6%	7.2	47
芦北	4	2%	8.4	44	0	0%	0	28	4	3%	8.4	50
球磨	5	3%	5.6	40	8	5%	9.0	48	5	3%	5.6	43
天草	8	4%	6.8	42	12	7%	10.2	51	7	4%	6.0	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

43.熊本県(2017年版)

資_図表 43-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
熊本県	81	1.5%	4.5	52	121	1.3%	6.8	48	93	1.2%	5.2	47
熊本	52	64%	7.0	64	69	57%	9.3	56	54	58%	7.3	56
宇城	3	4%	2.8	43	4	3%	3.7	38	6	6%	5.6	49
有明	3	4%	1.9	39	5	4%	3.1	36	6	6%	3.7	42
鹿本	1	1%	1.9	39	3	2%	5.7	45	2	2%	3.8	42
菊池	4	5%	2.2	41	9	7%	5.0	42	9	10%	5.0	46
阿蘇	0	0%	0	30	3	2%	4.7	41	0	0%	0	27
上益城	2	2%	2.3	41	6	5%	7.0	49	3	3%	3.5	41
八代	5	6%	3.6	47	9	7%	6.5	47	5	5%	3.6	41
芦北	3	4%	6.3	60	4	3%	8.4	53	2	2%	4.2	43
球磨	4	5%	4.5	52	4	3%	4.5	41	5	5%	5.6	49
天草	4	5%	3.4	46	5	4%	4.3	40	1	1%	0.9	30
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
熊本県	133	1.6%	7.4	53	320	1.6%	17.9	53	294	1.9%	16.5	60
熊本	65	49%	8.8	56	197	62%	26.6	65	168	57%	22.7	74
宇城	16	12%	14.9	74	19	6%	17.7	52	10	3%	9.3	44
有明	8	6%	5.0	45	23	7%	14.3	47	20	7%	12.4	51
鹿本	2	2%	3.8	42	4	1%	7.7	38	7	2%	13.4	53
菊池	9	7%	5.0	46	13	4%	7.2	37	28	10%	15.5	58
阿蘇	4	3%	6.2	49	5	2%	7.8	38	5	2%	7.8	40
上益城	8	6%	9.3	58	8	3%	9.3	40	13	4%	15.2	57
八代	4	3%	2.9	39	20	6%	14.3	48	20	7%	14.3	55
芦北	5	4%	10.5	61	5	2%	10.5	42	6	2%	12.6	51
球磨	8	6%	9.0	57	12	4%	13.5	46	7	2%	7.9	40
天草	4	3%	3.4	41	14	4%	11.9	44	10	3%	8.5	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
熊本県	102	1.8%	5.7	56	87	1.4%	4.9	49	112	2.1%	6.3	57
熊本	55	54%	7.4	64	54	62%	7.3	60	86	77%	11.6	76
宇城	6	6%	5.6	55	1	1%	0.9	32	1	1%	0.9	39
有明	8	8%	5.0	52	5	6%	3.1	42	8	7%	5.0	53
鹿本	2	2%	3.8	47	1	1%	1.9	37	1	1%	1.9	42
菊池	6	6%	3.3	44	5	6%	2.8	40	4	4%	2.2	43
阿蘇	2	2%	3.1	43	3	3%	4.7	48	0	0%	0	36
上益城	2	2%	2.3	39	2	2%	2.3	38	1	1%	1.2	40
八代	8	8%	5.7	56	5	6%	3.6	44	6	5%	4.3	50
芦北	6	6%	12.6	90	2	2%	4.2	46	2	2%	4.2	50
球磨	2	2%	2.3	39	5	6%	5.6	53	0	0%	0	36
天草	5	5%	4.3	49	4	5%	3.4	43	3	3%	2.6	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 43-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
熊本県	122	1.9%	6.8	56	19	1.2%	1.1	48	49	1.5%	2.7	51
熊本	90	74%	12.1	73	15	79%	2.0	59	41	84%	5.5	67
宇城	1	1%	0.9	36	1	5%	0.9	47	0	0%	0	35
有明	7	6%	4.3	47	1	5%	0.6	43	2	4%	1.2	42
鹿本	2	2%	3.8	46	0	0%	0	37	2	4%	3.8	57
菊池	6	5%	3.3	44	0	0%	0	37	0	0%	0	35
阿蘇	1	1%	1.6	38	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上益城	1	1%	1.2	37	0	0%	0	37	2	4%	2.3	48
八代	8	7%	5.7	52	2	11%	1.4	52	2	4%	1.4	43
芦北	2	2%	4.2	47	0	0%	0	37	0	0%	0	35
球磨	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
天草	4	3%	3.4	44	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

43.熊本県(2017年版)

資_図表 43-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
熊本県	17	0.9%	1.0	45	63	2.7%	3.5	63
熊本	10	59%	1.3	48	39	62%	5.3	76
宇城	1	6%	0.9	45	4	6%	3.7	64
有明	1	6%	0.6	42	6	10%	3.7	64
鹿本	1	6%	1.9	53	2	3%	3.8	65
菊池	3	18%	1.7	51	6	10%	3.3	61
阿蘇	0	0%	0	37	1	2%	1.6	48
上益城	0	0%	0	37	0	0%	0	36
八代	1	6%	0.7	43	2	3%	1.4	47
芦北	0	0%	0	37	1	2%	2.1	52
球磨	0	0%	0	37	2	3%	2.3	53
天草	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 43-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
熊本県	24,853	2.2%	1,391	68	19,476	2.1%	1,090	65	5,377	2.7%	301	70
熊本	12,328	50%	1,664	78	9,951	51%	1,343	76	2,376	44%	321	73
宇城	1,164	5%	1,087	57	857	4%	800	53	307	6%	287	68
有明	1,641	7%	1,017	55	1,224	6%	758	52	417	8%	258	64
鹿本	662	3%	1,266	64	474	2%	908	58	187	3%	358	78
菊池	2,070	8%	1,144	59	1,709	9%	944	59	362	7%	200	56
阿蘇	575	2%	892	51	414	2%	643	47	160	3%	249	63
上益城	829	3%	966	53	588	3%	685	48	241	4%	281	67
八代	1,848	7%	1,325	66	1,328	7%	952	60	520	10%	373	80
芦北	911	4%	1,908	86	702	4%	1,470	81	209	4%	437	89
球磨	1,105	4%	1,244	63	856	4%	964	60	249	5%	280	67
天草	1,722	7%	1,465	71	1,374	7%	1,169	69	348	6%	296	69
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 43-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
熊本県	3,149	2.5%	176	64	3,593	1.2%	201	47
熊本	1,722	55%	232	75	1,999	56%	270	55
宇城	182	6%	170	63	165	5%	154	42
有明	170	5%	106	51	199	6%	123	39
鹿本	74	2%	142	58	63	2%	121	38
菊池	374	12%	207	70	270	8%	149	41
阿蘇	79	3%	123	54	78	2%	121	38
上益城	135	4%	157	61	131	4%	153	42
八代	114	4%	82	47	244	7%	175	44
芦北	70	2%	146	59	108	3%	226	50
球磨	113	4%	127	55	158	4%	178	45
天草	116	4%	99	50	178	5%	152	42
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 43-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
熊本県	205	1.5%	0.7	48	38	3.1%	0.1	60	209	2.0%	0.8	56
熊本	86	42%	1.0	53	18	47%	0.2	70	81	39%	0.9	63
宇城	10	5%	0.5	44	2	5%	0.1	55	13	6%	0.7	53
有明	26	13%	0.9	52	2	5%	0.1	49	12	6%	0.4	39
鹿本	9	4%	0.9	51	1	3%	0.1	54	5	2%	0.5	42
菊池	10	5%	0.5	42	2	5%	0.1	53	14	7%	0.6	50
阿蘇	6	3%	0.5	42	0	0%	0	38	8	4%	0.6	48
上益城	8	4%	0.5	43	5	13%	0.3	90	14	7%	0.9	63
八代	17	8%	0.7	47	0	0%	0	38	20	10%	0.8	59
芦北	6	3%	0.6	44	2	5%	0.2	69	10	5%	1.0	66
球磨	8	4%	0.4	41	4	11%	0.2	74	17	8%	1.0	65
天草	19	9%	0.7	48	2	5%	0.1	51	15	7%	0.6	47
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 43-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
熊本県	26,809	1.6%	98	46	18,640	1.9%	68	55	8,169	1.2%	30	42
熊本	9,436	35%	106	51	5,241	28%	59	48	4,195	51%	47	53
宇城	1,855	7%	101	48	1,338	7%	73	59	517	6%	28	41
有明	2,425	9%	85	39	1,820	10%	64	52	605	7%	21	37
鹿本	834	3%	81	37	694	4%	68	55	140	2%	14	32
菊池	2,025	8%	93	43	1,479	8%	68	55	546	7%	25	39
阿蘇	1,420	5%	109	53	1,030	6%	79	64	390	5%	30	42
上益城	1,500	6%	98	47	1,205	6%	79	64	295	4%	19	36
八代	2,156	8%	89	41	1,650	9%	68	56	506	6%	21	37
芦北	1,109	4%	107	52	846	5%	82	66	263	3%	25	39
球磨	1,720	6%	96	46	1,358	7%	76	62	362	4%	20	36
天草	2,329	9%	92	43	1,979	11%	78	63	350	4%	14	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 43-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
熊本県	6,609	1.8%	24	53	9,877	1.8%	36	51	2,154	3.3%	7.9	59
熊本	2,168	33%	24	53	2,177	22%	24	39	896	42%	10.1	65
宇城	378	6%	21	46	867	9%	47	62	93	4%	5.0	53
有明	683	10%	24	52	955	10%	34	49	182	8%	6.4	56
鹿本	256	4%	25	54	438	4%	43	58	0	0%	0	40
菊池	526	8%	24	53	718	7%	33	48	235	11%	10.8	66
阿蘇	305	5%	23	51	673	7%	52	67	52	2%	4.0	50
上益城	284	4%	19	43	816	8%	53	69	105	5%	6.9	57
八代	636	10%	26	56	855	9%	35	50	159	7%	6.6	56
芦北	250	4%	24	53	475	5%	46	61	121	6%	11.7	69
球磨	451	7%	25	55	744	8%	42	57	163	8%	9.1	63
天草	672	10%	26	57	1,159	12%	46	61	148	7%	5.8	54
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
熊本県	1,546	0.7%	5.6	42	50	0.2%	0.2	44	3,097	1.6%	11.3	49
熊本	1,066	69%	12.0	48	0	0%	0	43	851	27%	9.6	46
宇城	73	5%	4.0	40	0	0%	0	43	261	8%	14.2	54
有明	20	1%	0.7	37	50	100%	1.8	52	387	12%	13.6	53
鹿本	0	0%	0	37	0	0%	0	43	90	3%	8.8	44
菊池	130	8%	6.0	42	0	0%	0	43	252	8%	11.5	49
阿蘇	58	4%	4.5	41	0	0%	0	43	216	7%	16.6	58
上益城	44	3%	2.9	39	0	0%	0	43	153	5%	10.0	46
八代	49	3%	2.0	39	0	0%	0	43	221	7%	9.2	45
芦北	58	4%	5.6	42	0	0%	0	43	180	6%	17.4	59
球磨	0	0%	0	37	0	0%	0	43	207	7%	11.6	49
天草	48	3%	1.9	39	0	0%	0	43	279	9%	11.0	48
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
熊本県	3,476	1.5%	12.7	48	499	3.2%	1.8	55	2,977	1.4%	10.9	46
熊本	2,278	66%	25.6	66	410	82%	4.6	72	1,868	63%	21.0	61
宇城	183	5%	9.9	44	0	0%	0	44	183	6%	9.9	45
有明	148	4%	5.2	37	0	0%	0	44	148	5%	5.2	38
鹿本	50	1%	4.9	37	0	0%	0	44	50	2%	4.9	37
菊池	164	5%	7.5	40	0	0%	0	44	164	6%	7.5	41
阿蘇	116	3%	8.9	42	21	4%	1.6	54	95	3%	7.3	41
上益城	98	3%	6.4	39	0	0%	0	44	98	3%	6.4	40
八代	236	7%	9.8	43	30	6%	1.2	52	206	7%	8.5	43
芦北	25	1%	2.4	33	0	0%	0	44	25	1%	2.4	34
球磨	155	4%	8.7	42	38	8%	2.1	57	117	4%	6.6	40
天草	23	1%	0.9	31	0	0%	0	44	23	1%	0.9	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 43-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
熊本県	4,022	2.4%	14.7	69	3,128	2.6%	11.4	70	895	1.9%	3.3	54
熊本	1,484	37%	16.7	77	1,111	36%	12.5	75	373	42%	4.2	64
宇城	222	6%	12.0	58	162	5%	8.8	57	60	7%	3.2	54
有明	351	9%	12.3	59	287	9%	10.1	63	63	7%	2.2	43
鹿本	98	2%	9.6	47	80	3%	7.8	52	18	2%	1.7	38
菊池	397	10%	18.2	84	335	11%	15.3	89	62	7%	2.9	50
阿蘇	154	4%	11.8	57	114	4%	8.8	57	39	4%	3.0	52
上益城	222	6%	14.6	69	162	5%	10.6	66	60	7%	3.9	61
八代	317	8%	13.1	62	233	7%	9.7	61	84	9%	3.5	56
芦北	179	4%	17.2	80	144	5%	13.9	82	34	4%	3.3	55
球磨	276	7%	15.5	72	219	7%	12.3	74	57	6%	3.2	53
天草	324	8%	12.8	61	279	9%	11.0	67	45	5%	1.8	39
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
熊本県	25,181	1.7%	92	51	21,350	1.7%	78	51	3,831	1.7%	14.0	50
熊本	8,554	34%	96	55	6,890	32%	77	51	1,665	43%	18.7	58
宇城	1,803	7%	98	56	1,544	7%	84	56	260	7%	14.1	50
有明	2,439	10%	86	46	2,043	10%	72	46	396	10%	13.9	50
鹿本	831	3%	81	43	761	4%	74	48	70	2%	6.8	37
菊池	2,044	8%	94	53	1,736	8%	80	53	308	8%	14.1	50
阿蘇	1,128	4%	87	47	1,046	5%	80	53	82	2%	6.3	37
上益城	1,425	6%	93	52	1,285	6%	84	57	140	4%	9.2	42
八代	2,193	9%	91	50	1,726	8%	71	46	468	12%	19.4	60
芦北	974	4%	94	53	885	4%	85	58	89	2%	8.6	41
球磨	1,638	7%	92	51	1,470	7%	82	55	167	4%	9.4	42
天草	2,151	9%	85	46	1,965	9%	77	51	186	5%	7.4	38
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
熊本県	10,916	1.0%	40	42	6,457	1.4%	24	46	24,726	1.7%	90	50
熊本	5,056	46%	57	47	2,968	46%	33	55	11,857	48%	133	63
宇城	820	8%	44	43	416	6%	23	45	1,531	6%	83	47
有明	1,171	11%	41	42	592	9%	21	44	2,453	10%	86	48
鹿本	264	2%	26	37	100	2%	10	35	425	2%	42	34
菊池	362	3%	17	34	454	7%	21	44	1,931	8%	88	49
阿蘇	907	8%	70	51	208	3%	16	40	469	2%	36	33
上益城	255	2%	17	34	323	5%	21	44	849	3%	56	39
八代	517	5%	21	36	375	6%	16	40	2,143	9%	89	49
芦北	498	5%	48	44	245	4%	24	46	653	3%	63	41
球磨	235	2%	13	33	389	6%	22	45	960	4%	54	38
天草	831	8%	33	39	387	6%	15	39	1,455	6%	57	39

出典 平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 43-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
熊本県		1,842,233	1,786,170	-3%	1,666,017	-10%	6%	2%	8%
熊本	地方都市型	727,978	740,822	2%	714,761	-2%	12%	7%	20%
宇城	地方都市型	113,366	107,115	-6%	99,030	-13%	5%	1%	5%
有明	地方都市型	173,921	161,320	-7%	148,269	-15%	3%	-1%	2%
鹿本	過疎地域型	57,726	52,264	-9%	47,216	-18%	0%	-2%	-2%
菊池	地方都市型	165,050	180,973	10%	178,831	8%	16%	8%	25%
阿蘇	過疎地域型	70,339	64,393	-8%	58,808	-16%	1%	-1%	0%
上益城	過疎地域型	89,755	85,768	-4%	78,026	-13%	5%	0%	5%
八代	過疎地域型	150,118	139,466	-7%	124,094	-17%	4%	-2%	2%
芦北	過疎地域型	55,384	47,745	-14%	40,378	-27%	-3%	-7%	-11%
球磨	過疎地域型	100,694	88,820	-12%	77,632	-23%	-1%	-5%	-7%
天草	過疎地域型	137,902	117,484	-15%	98,972	-28%	-5%	-8%	-12%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

43.熊本県(2017年版)

資_図表 43-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
熊本県	223	12.1	63	214	12.0	63	-9	-4%	204
熊本	102	14.0	68	94	12.7	65	-8	-8%	85
宇城	12	10.6	59	12	11.2	61	0	0%	12
有明	12	6.9	49	12	7.4	52	0	0%	12
鹿本	6	10.4	59	6	11.5	62	0	0%	6
菊池	16	9.7	57	16	8.8	55	0	0%	16
阿蘇	6	8.5	54	6	9.3	56	0	0%	6
上益城	13	14.5	69	13	15.2	71	0	0%	13
八代	13	8.7	54	13	9.3	56	0	0%	13
芦北	11	19.9	83	11	23.0	90	0	0%	11
球磨	13	12.9	65	13	14.6	69	0	0%	13
天草	19	13.8	67	18	15.3	71	-1	-5%	17
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 43-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
熊本県	1,485	81	52	1,471	82	52	-14	-1%	1,457
熊本	606	83	54	624	84	53	18	3%	644
宇城	72	64	44	70	65	43	-2	-3%	68
有明	152	87	56	130	81	51	-22	-14%	106
鹿本	48	83	54	44	84	53	-4	-8%	40
菊池	117	71	47	129	71	46	12	10%	142
阿蘇	45	64	44	49	76	48	4	9%	53
上益城	55	61	43	61	71	46	6	11%	68
八代	144	96	60	129	92	57	-15	-10%	113
芦北	50	90	57	46	96	59	-4	-8%	42
球磨	83	82	53	84	95	58	1	1%	85
天草	113	82	53	105	89	56	-8	-7%	96
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 43-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
熊本県	4,584	249	54	5,156	289	55	572	12%	5,786
熊本	2,572	353	67	3,153	426	69	581	23%	3,792
宇城	169	149	43	187	175	43	18	11%	207
有明	316	182	46	300	186	44	-16	-5%	282
鹿本	102	177	46	98	188	44	-4	-4%	94
菊池	300	182	46	325	180	43	25	8%	353
阿蘇	82	117	39	96	149	40	14	17%	111
上益城	118	131	40	128	149	40	10	8%	139
八代	321	214	50	322	231	49	1	0%	323
芦北	147	265	56	143	300	56	-4	-3%	139
球磨	196	195	48	165	186	44	-31	-16%	131
天草	261	189	47	239	203	46	-22	-8%	215
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 43-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
熊本県	44,270	240	68	40,637	228	67	-3,633	-8%	36,640
熊本	18,872	259	71	17,487	236	68	-1,385	-7%	15,964
宇城	2,205	195	59	2,203	206	63	-2	0%	2,201
有明	3,478	200	60	3,072	190	60	-406	-12%	2,625
鹿本	1,158	201	60	1,072	205	63	-86	-7%	977
菊池	4,531	275	74	4,021	222	66	-510	-11%	3,460
阿蘇	1,262	179	57	1,154	179	58	-108	-9%	1,035
上益城	1,555	173	56	1,462	170	57	-93	-6%	1,360
八代	3,401	227	65	2,995	215	65	-406	-12%	2,548
芦北	1,915	346	86	1,787	374	93	-128	-7%	1,646
球磨	2,105	209	62	1,908	215	65	-197	-9%	1,691
天草	3,788	275	74	3,476	296	79	-312	-8%	3,133
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 43-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
熊本県	22,141	120	63	21,569	121	66	-572	-3%	20,940	126
熊本	9,847	135	68	10,390	140	73	543	6%	10,987	154
宇城	882	78	48	982	92	55	100	11%	1,092	110
有明	1,402	81	49	1,237	77	49	-165	-12%	1,056	71
鹿本	664	115	61	594	114	63	-70	-11%	517	109
菊池	2,969	180	84	2,619	145	74	-350	-12%	2,234	125
阿蘇	448	64	43	460	71	47	12	3%	473	80
上益城	596	66	44	499	58	43	-97	-16%	392	50
八代	1,752	117	62	1,542	111	62	-210	-12%	1,311	106
芦北	1,073	194	89	952	199	95	-121	-11%	819	203
球磨	1,041	103	57	886	100	58	-155	-15%	716	92
天草	1,467	106	58	1,408	120	65	-59	-4%	1,343	136
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 43-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
熊本県	12,775	58	65	9,923	36	63	-2,852	-22%	6,784	21
熊本	5,513	83	79	3,807	43	68	-1,706	-31%	1,930	16
宇城	715	48	59	521	28	56	-194	-27%	308	15
有明	1,068	45	57	855	30	58	-213	-20%	621	19
鹿本	250	28	48	234	23	52	-16	-6%	216	19
菊池	680	41	55	503	23	52	-177	-26%	308	11
阿蘇	540	49	60	420	32	60	-120	-22%	288	20
上益城	572	46	58	576	38	64	4	1%	580	34
八代	829	44	57	633	26	54	-196	-24%	417	15
芦北	462	51	61	451	44	69	-11	-2%	439	41
球磨	640	43	56	614	34	61	-26	-4%	585	32
天草	1,506	67	70	1,309	52	76	-197	-13%	1,092	43
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

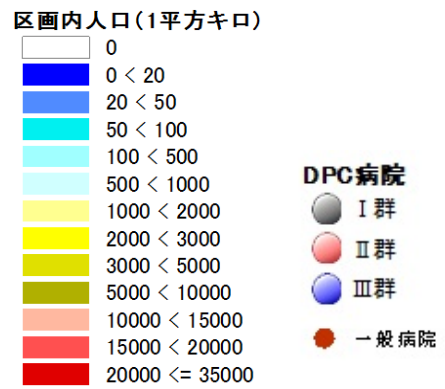
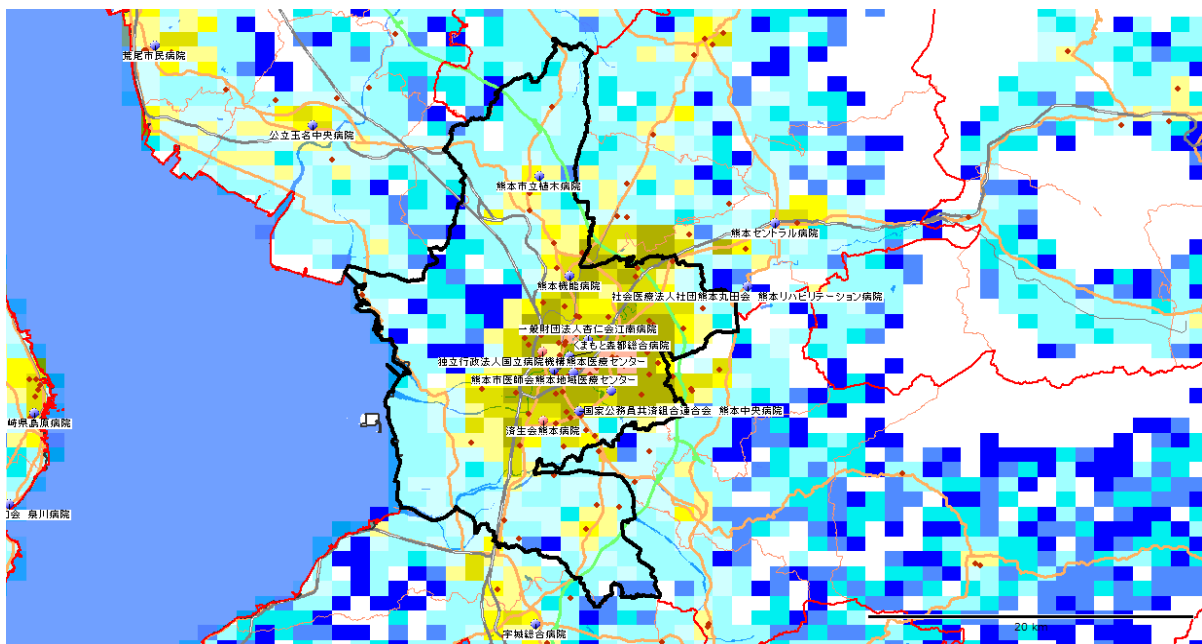
資_図表 43-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
熊本県	1,041	59	1.106	594	64	1.262	419	45	0.961
熊本	1,095	63	1.176	635	68	1.370	429	47	0.984
宇城	1,037	58	1.094	569	61	1.197	442	50	1.002
有明	1,046	59	1.114	597	64	1.270	420	45	0.963
鹿本	935	50	0.992	520	56	1.088	388	37	0.895
菊池	995	55	1.070	563	60	1.210	403	41	0.931
阿蘇	1,016	57	1.076	597	64	1.257	392	38	0.897
上益城	1,051	60	1.120	616	66	1.303	409	42	0.944
八代	962	52	1.012	523	56	1.107	412	43	0.924
芦北	1,074	61	1.145	601	64	1.275	454	53	1.044
球磨	923	49	0.983	489	53	1.040	409	42	0.939
天草	1,092	63	1.150	652	69	1.364	417	44	0.949
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

43-1. くまもと 熊本医療圏

構成市区町村⁹ [中央区](#) [東区](#) [西区](#) [南区](#)
[北区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(熊本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 熊本(熊本市中央区)は、総人口約741千人(2015年)、面積390km²、人口密度は1898人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 熊本の総人口は2025年に715千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に659千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の89千人が、2025年にかけて117千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には134千人へと増加する(2025年比+15%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 熊本の一人当たり医療費(国保)は361千円(偏差値54)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 熊本の一人当たり急性期医療密度指数²は1.57、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.24で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が66(病院医師数71、診療所医師数54)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は78と非常に多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は70で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は69と非常に多い。熊本には、年間全身麻酔件数が2000例以上の熊本市立熊本市市民病院(Ⅲ群)、済生会熊本病院(Ⅱ群・救命)、熊本赤十字病院(Ⅱ群・救命)、国立病院機構熊本医療センター(Ⅱ群・救命)、熊本大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の熊本中央病院(Ⅲ群)、熊本整形外科病院(Ⅲ群)、熊本機能病院(Ⅲ群)、500例以上の熊本地域医療センター(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 熊本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9436人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5241床(偏差値48)、高齢者住宅等が4195床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6890人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設65、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住66である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、1665人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(熊本医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

熊本医療圏の総人口は、2005年727978人が、2015年に740822人と2%増加し、2025年の人口が714761人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

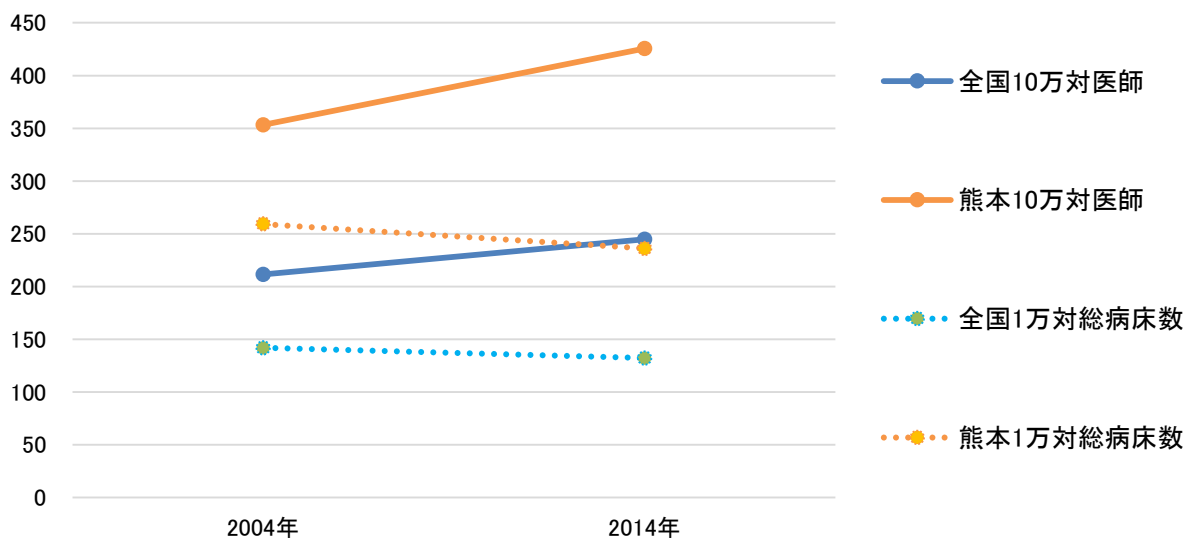
2004年の病院数が102(人口10万人当たり14病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2014年に94(人口10万人当たり12.7病院(全国平均6.7)偏差値65)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が606(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に624(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値53)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が18872床(人口1万人当たり259(全国平均142)偏差値71)であったが、2014年に17487床(人口1万人当たり236(全国平均132)偏差値68)と、1385床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

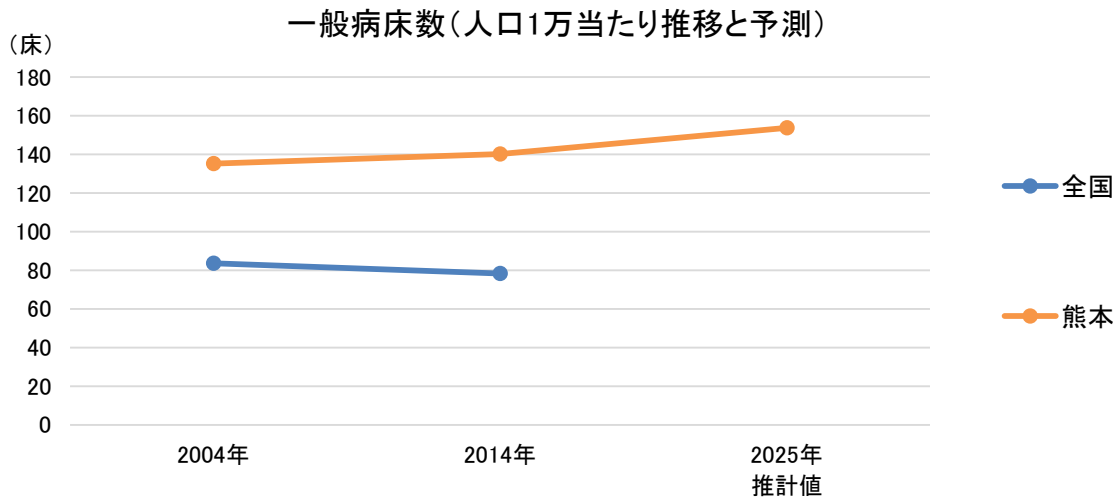
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2572人(人口10万人当たり353人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2014年に3153人(人口10万人当たり426人(全国平均245人)偏差値69)と、581人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



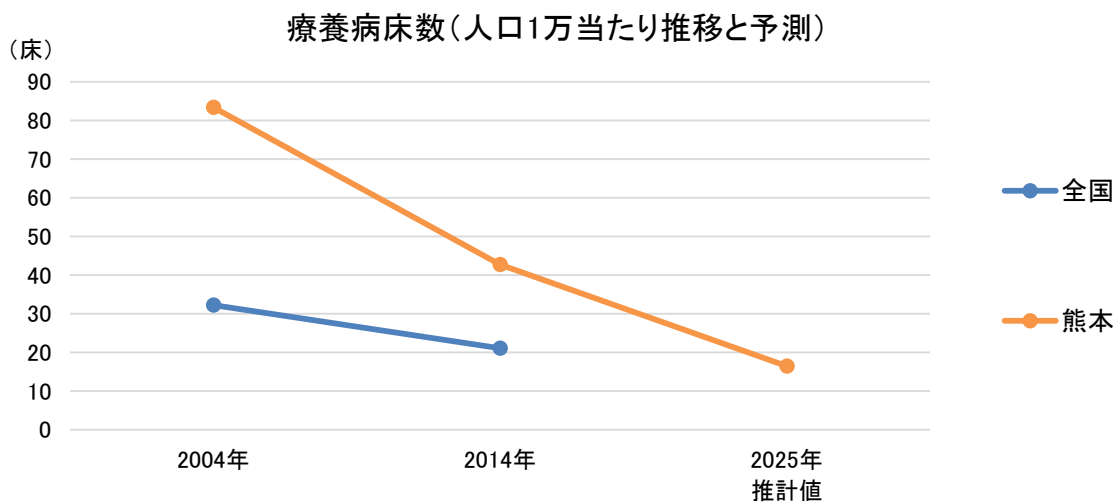
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9847床(人口1万人当たり135(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に10390床(人口1万人当たり140(全国平均78)偏差値73)と、543床の増加、率にして6%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には10987床(2025年の推計人口1万人当たり154)になることが予想される。



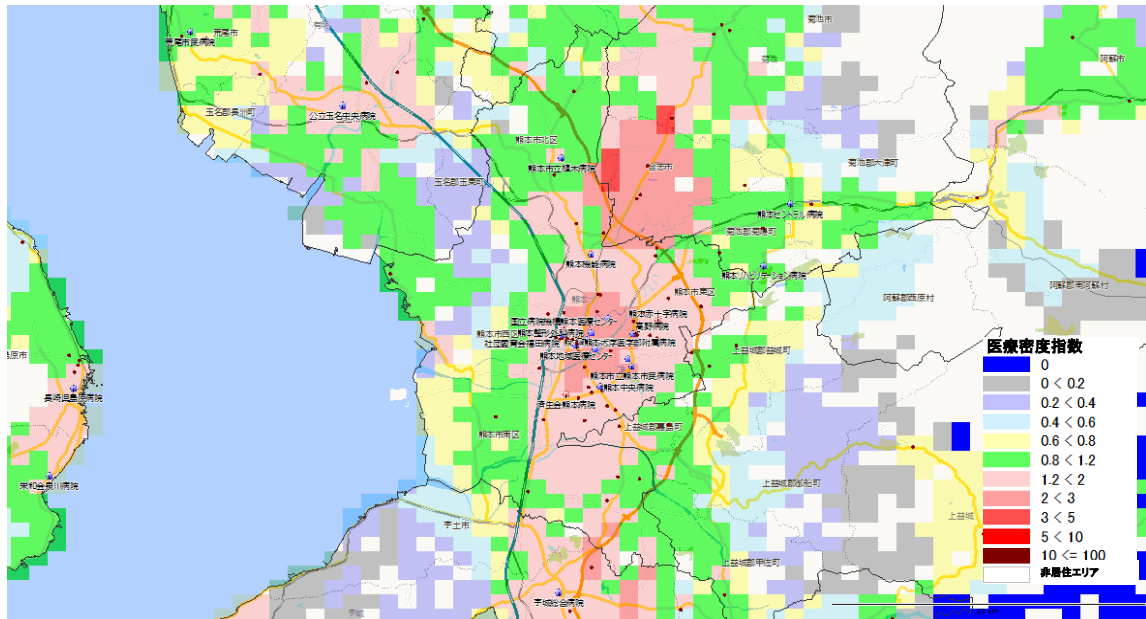
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5513床(75歳以上1000人当たり83(全国平均32)偏差値79)であったが、2014年に3807床(75歳以上1000人当たり43(全国平均21)偏差値68)と、1706床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1930床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



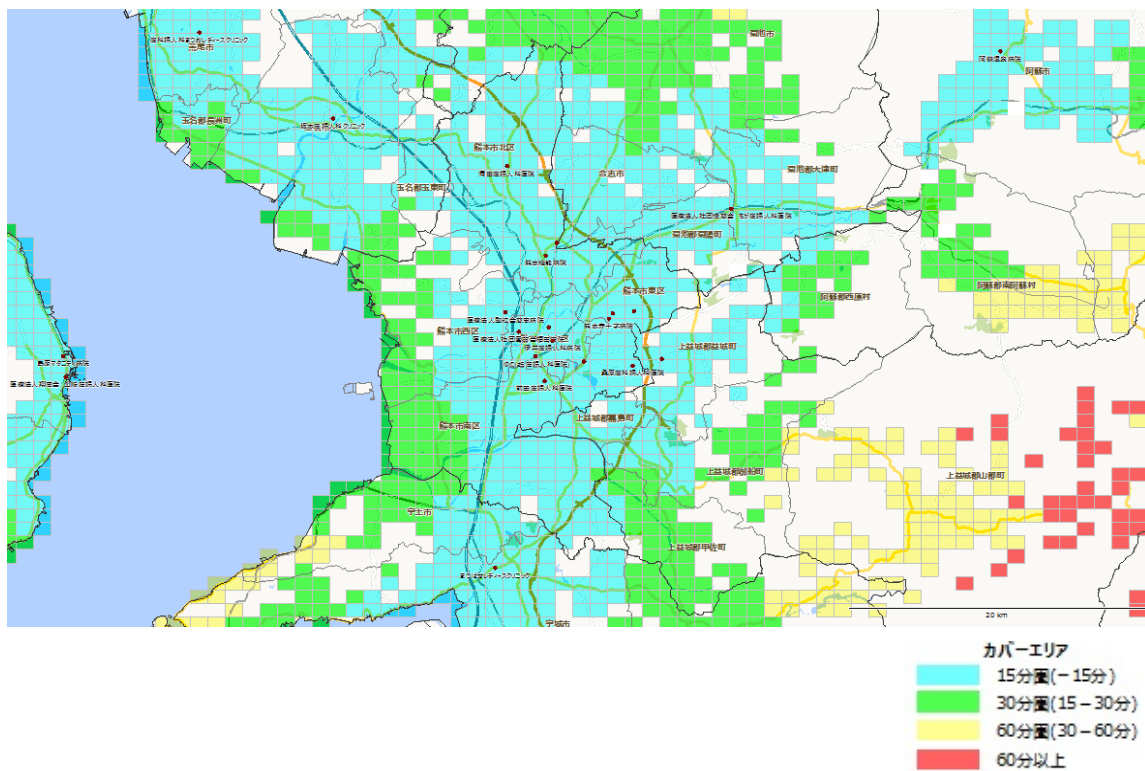
(熊本医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

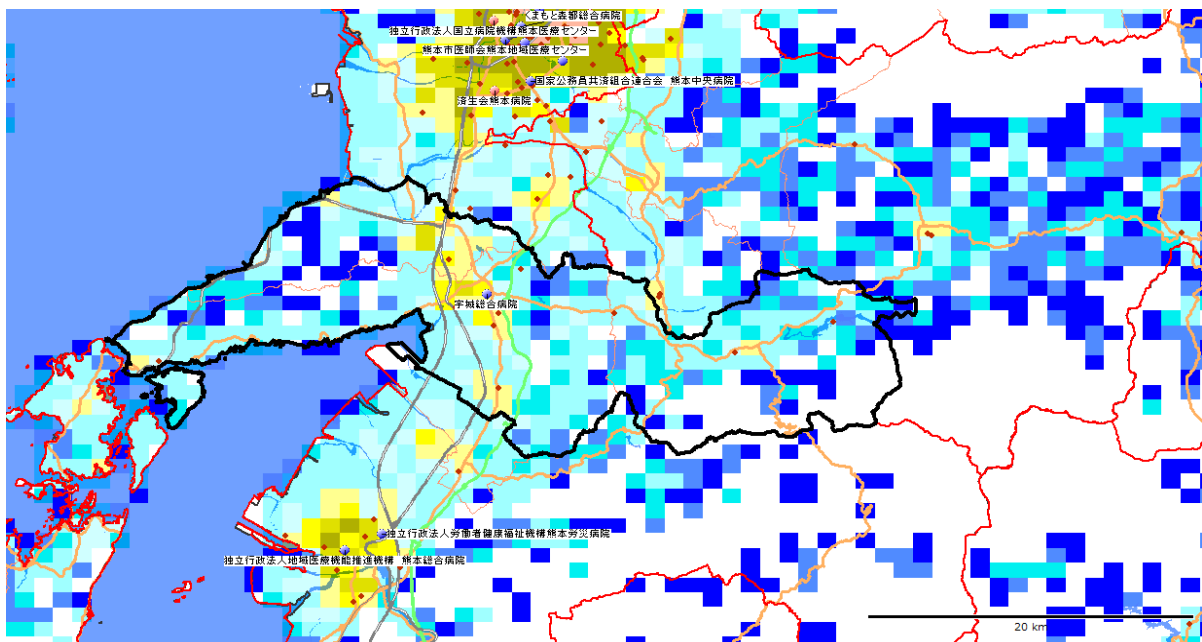
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-2. う き宇城医療圏

構成市区町村⁹ [宇土市](#) [宇城市](#) [美里町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(宇城医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇城(宇土市)は、総人口約107千人(2015年)、面積407km²、人口密度は263人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇城の総人口は2025年に99千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に85千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には22千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇城の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値59)、介護給付費は279千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇城の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.99で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。宇城には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇城の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1855人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1338床(偏差値59)、高齢者住宅等が517床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1544人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、260人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(宇城医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇城医療圏の総人口は、2005年113366人が、2015年に107115人と6%減少し、2025年の人口が99030人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

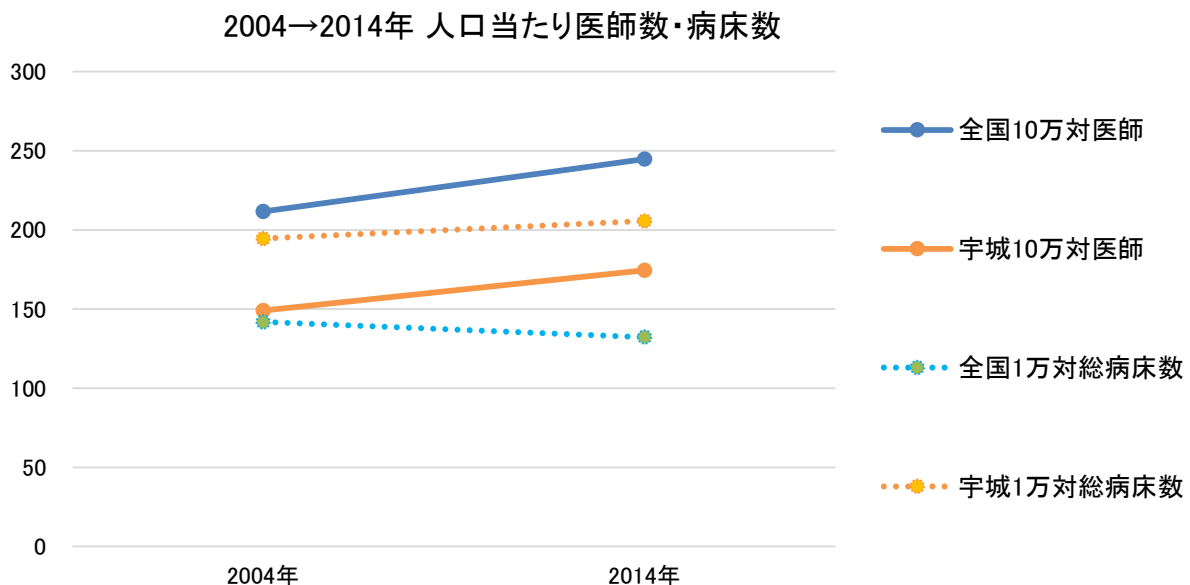
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に12(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が72(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に70(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値43)と、2診療所が減少した。

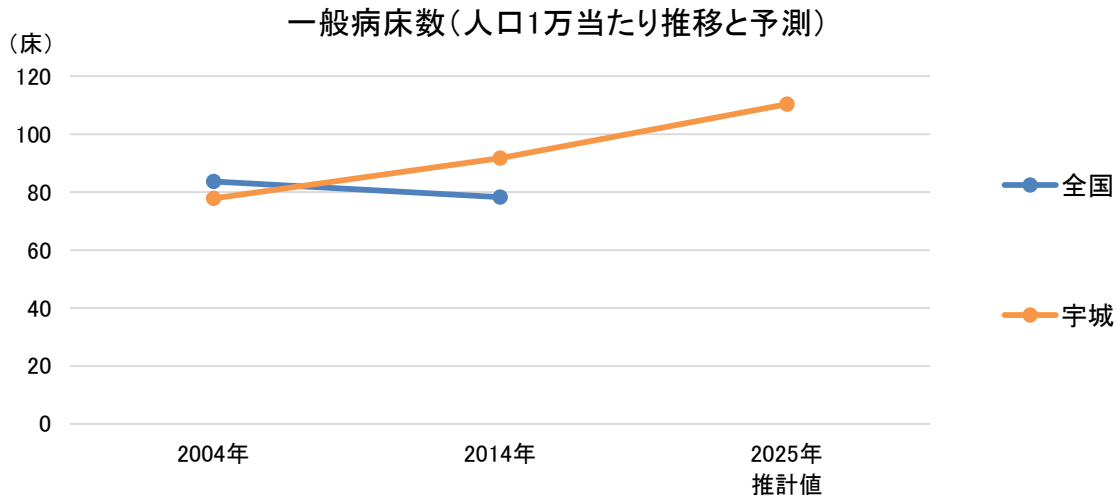
2004年の総病床数が2205床(人口1万人当たり195(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に2203床(人口1万人当たり206(全国平均132)偏差値63)と、2床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が169人(人口10万人当たり149人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に187人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値43)と、18人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



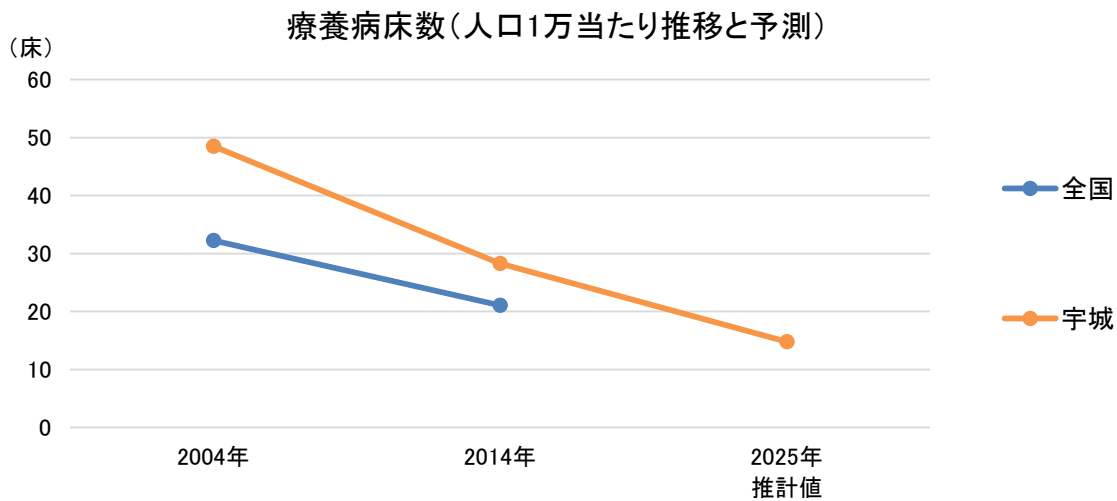
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が882床(人口1万人当たり78(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に982床(人口1万人当たり92(全国平均78)偏差値55)と、100床の増加、率にして11%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1092床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



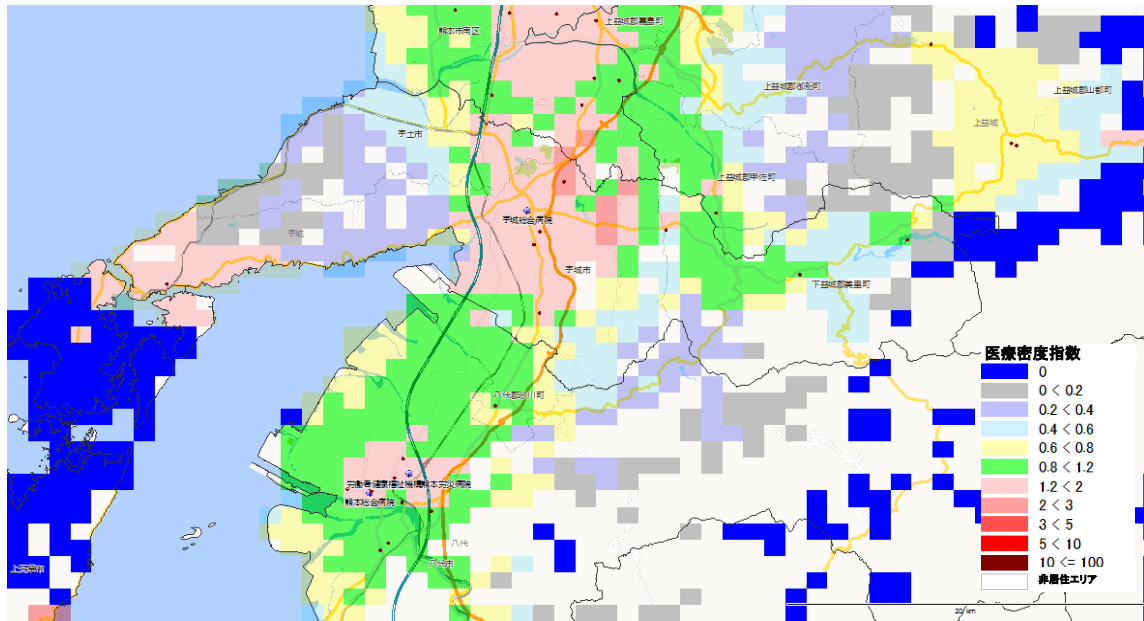
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が715床(75歳以上1000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に521床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、194床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には308床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



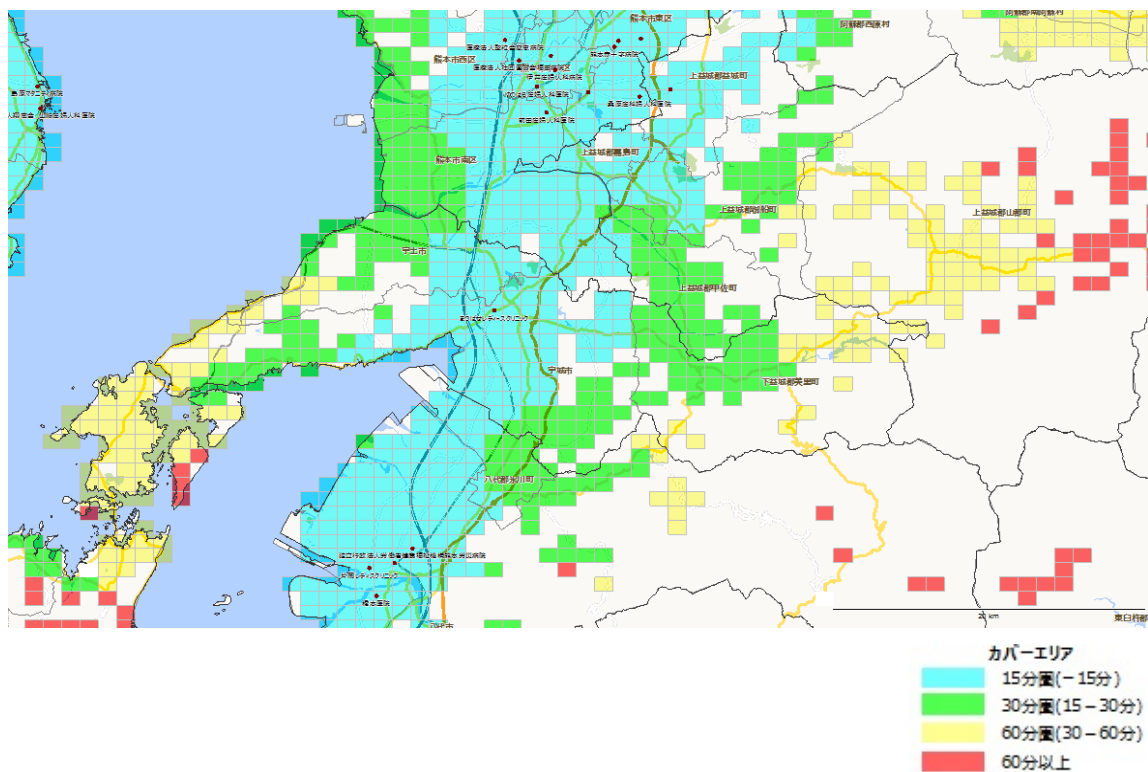
(宇城医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

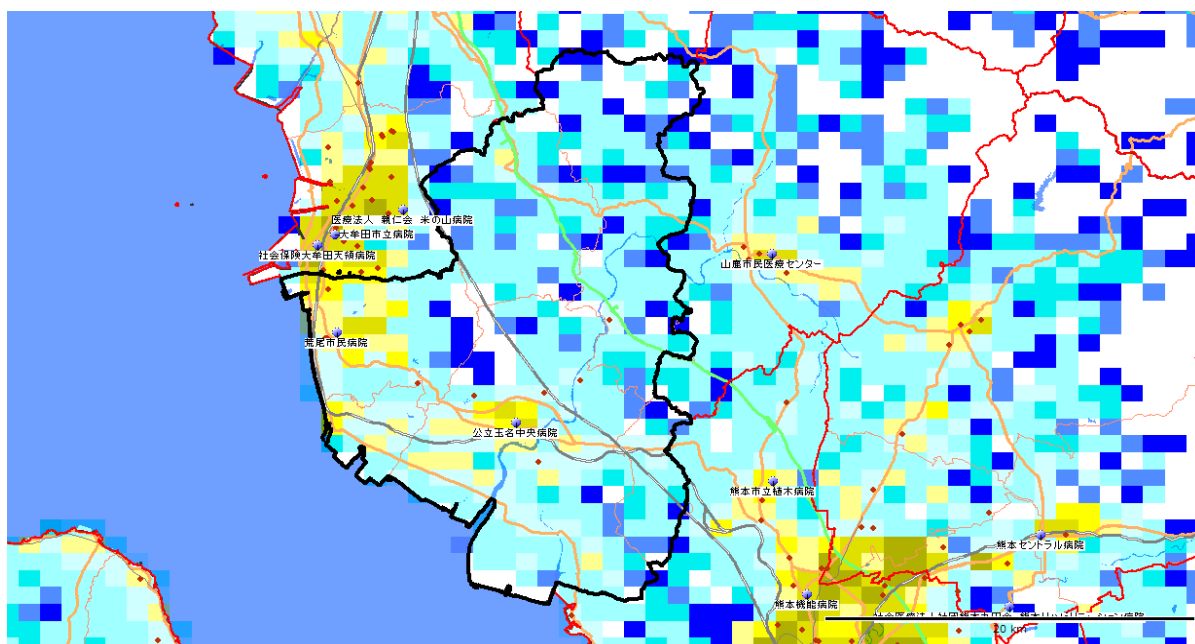
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-3. ありあけ 有明医療圏

構成市区町村⁹ [荒尾市](#) [玉名市](#) [玉東町](#) [南関町](#)
[長洲町](#) [和水町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(有明医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 有明(荒尾市)は、総人口約161千人(2015年)、面積421km²、人口密度は383人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 有明の総人口は2025年に148千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に125千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には31千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 有明の一人当たり医療費(国保)は413千円(偏差値66)、介護給付費は294千円(偏差値62)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 有明の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.19で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数41、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。有明には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立玉名中央病院(Ⅲ群)、荒尾市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 有明の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2425人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1820床(偏差値52)、高齢者住宅等が605床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2043人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム37、軽費ホーム52、グループホーム53、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、396人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(有明医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

有明医療圏の総人口は、2005年173921人が、2015年に161320人と7%減少し、2025年の人口が148269人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

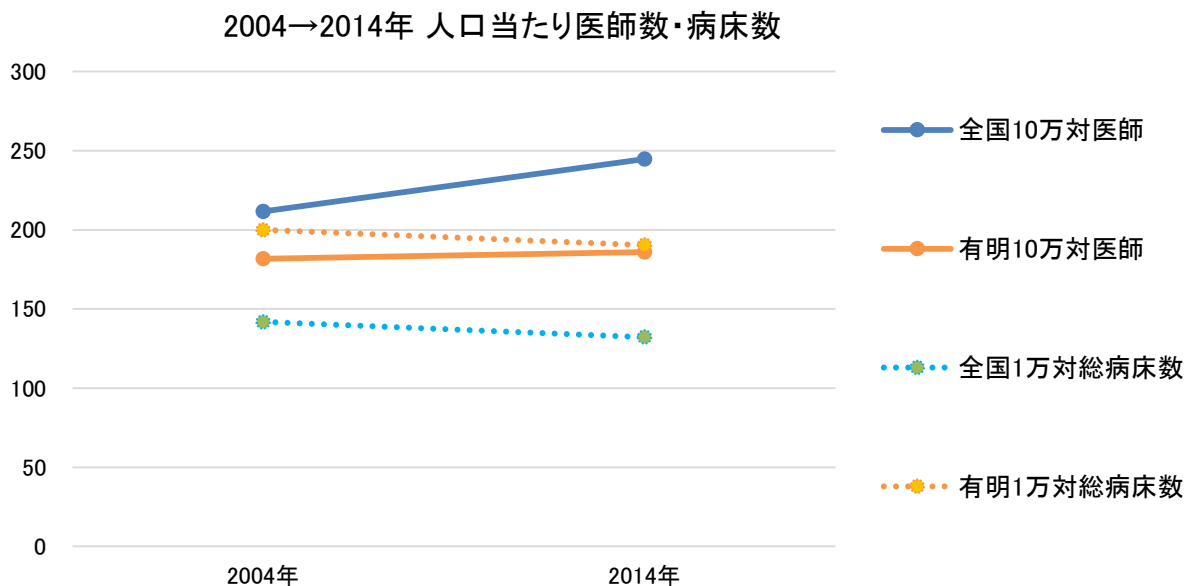
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に12(人口10万人当たり7.4病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が152(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に130(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、22診療所が減少した。

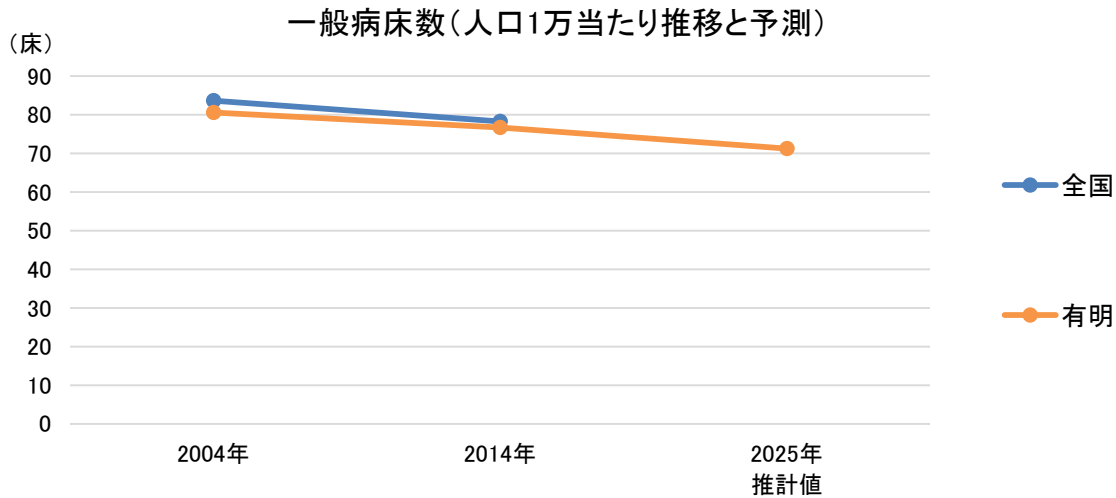
2004年の総病床数が3478床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に3072床(人口1万人当たり190(全国平均132)偏差値60)と、406床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が316人(人口10万人当たり182人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に300人(人口10万人当たり186人(全国平均245人)偏差値44)と、16人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



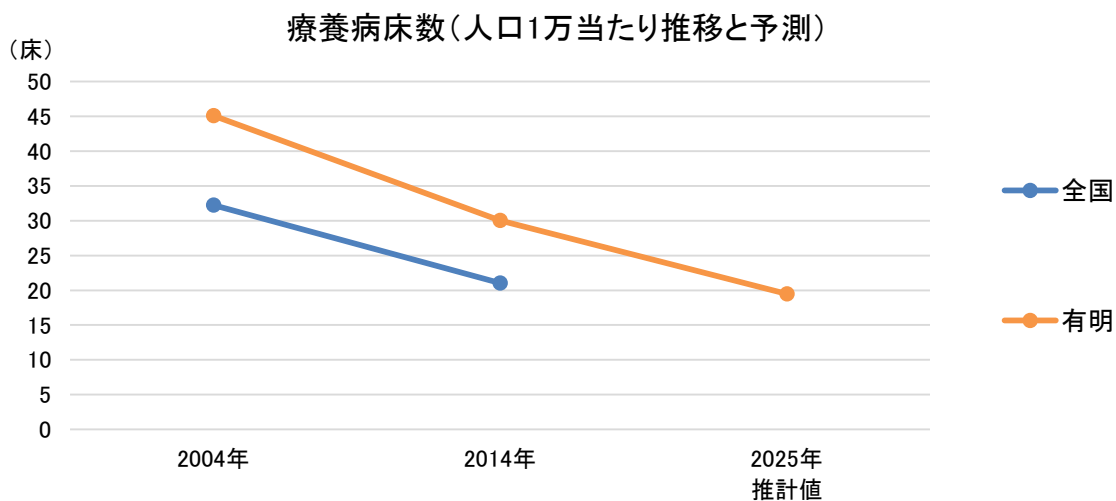
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1402床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1237床(人口1万人当たり77(全国平均78)偏差値49)と、165床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1056床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



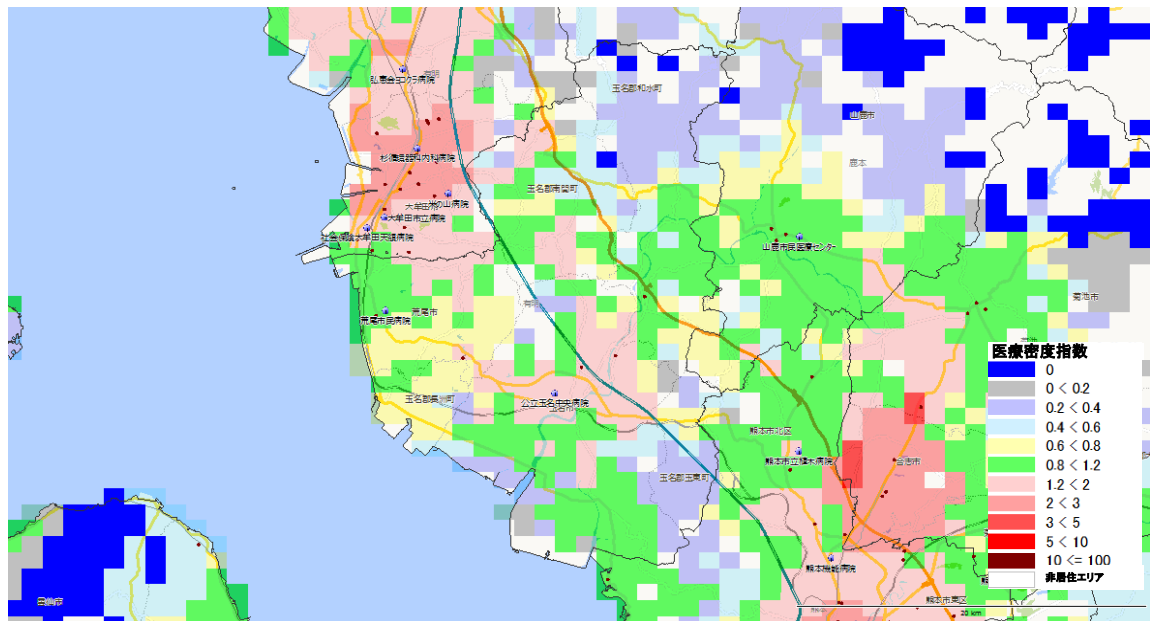
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1068床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に855床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、213床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には621床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



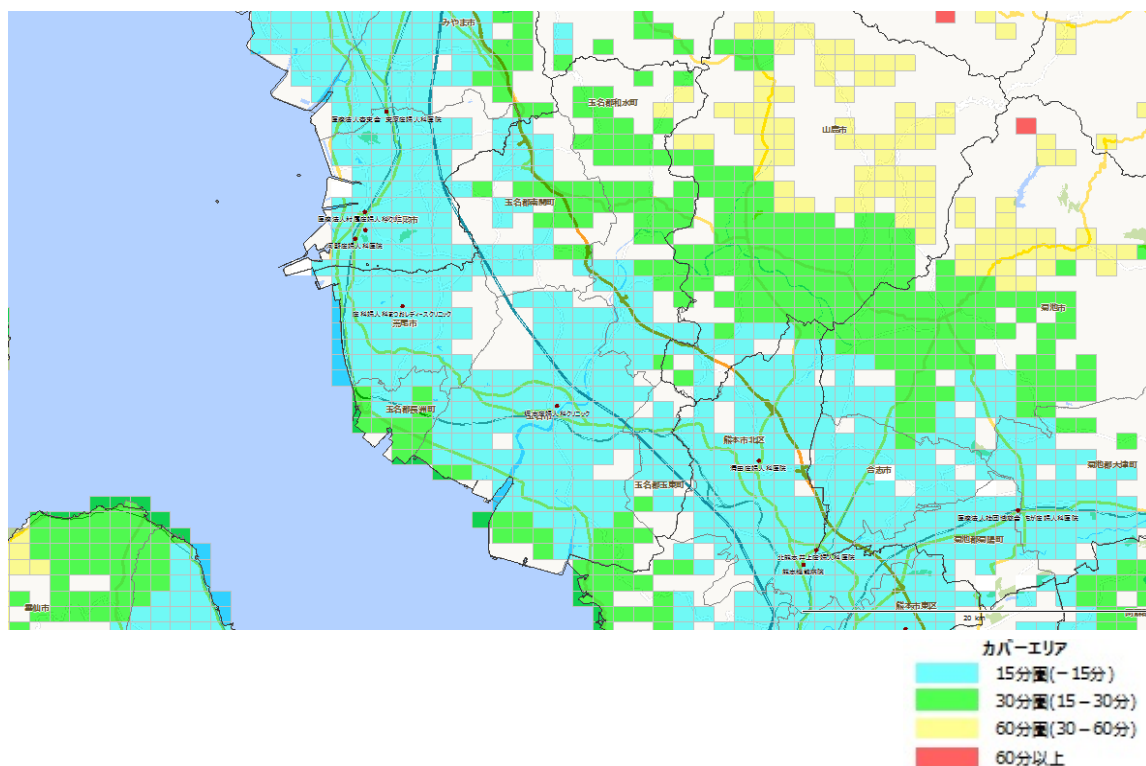
(有明医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

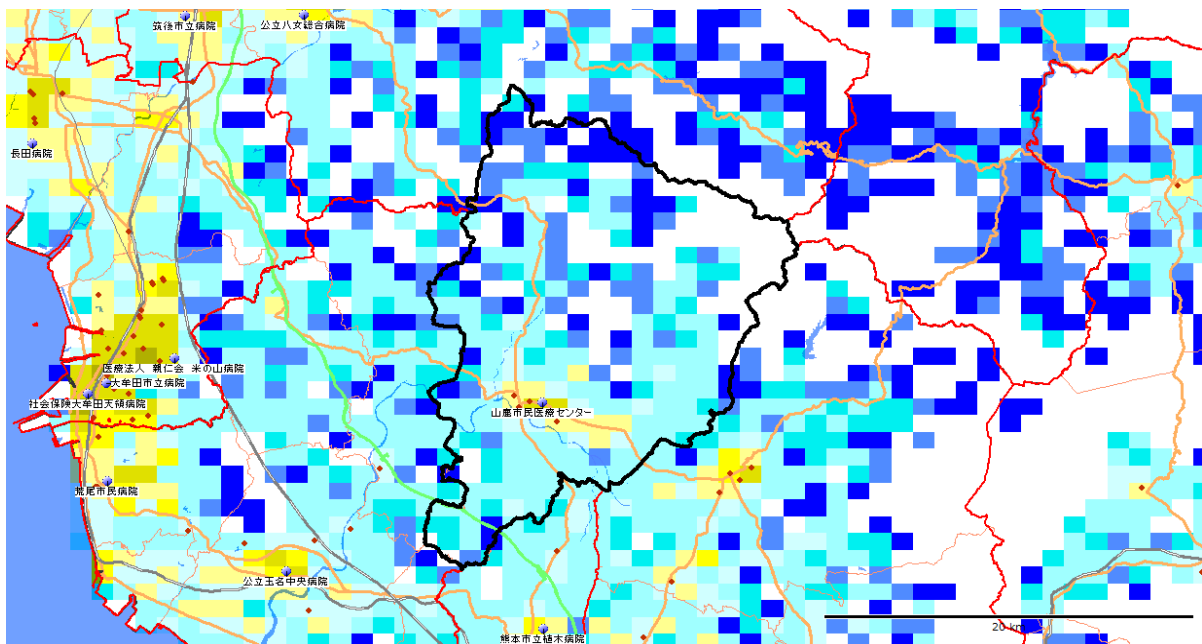
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-4. か も と 鹿本医療圏

構成市区町村⁹ [山鹿市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(鹿本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 鹿本(山鹿市)は、総人口約52千人(2015年)、面積300km²、人口密度は174人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 鹿本の総人口は2025年に47千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には11千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 鹿本の一人当たり医療費(国保)は390千円(偏差値61)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 鹿本の一人当たり急性期医療密度指数²は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.09で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数44、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。鹿本には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値68と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 鹿本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、834人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が694床(偏差値55)、高齢者住宅等が140床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、761人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、70人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(鹿本医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

鹿本医療圏の総人口は、2005年57726人が、2015年に52264人と9%減少し、2025年の人口が47216人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

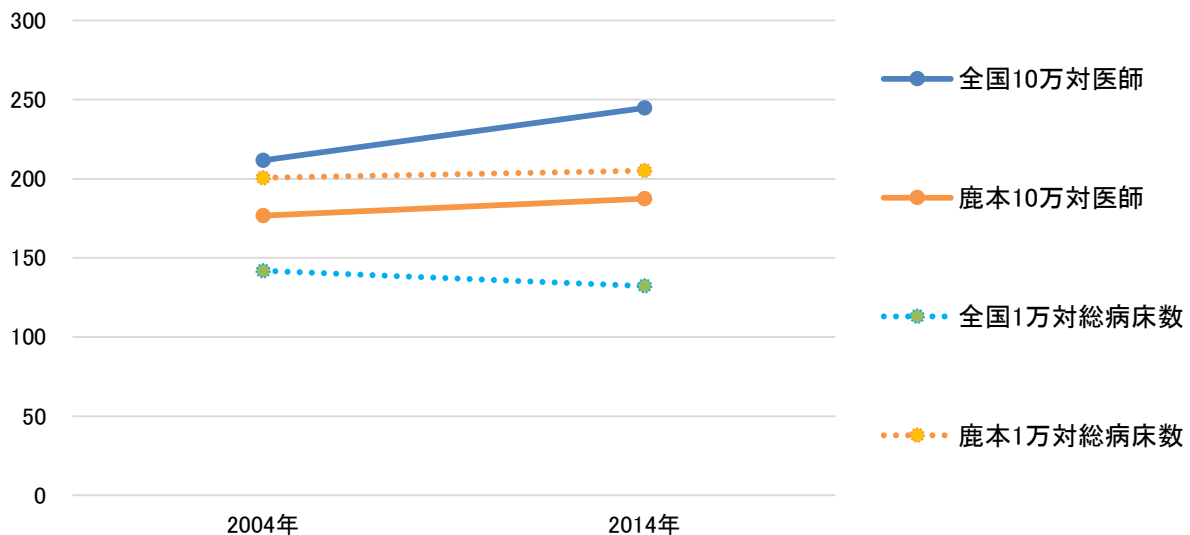
2004年の病院数が6(人口10万人当たり10.4病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に6(人口10万人当たり11.5病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に44(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値53)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1158床(人口1万人当たり201(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1072床(人口1万人当たり205(全国平均132)偏差値63)と、86床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

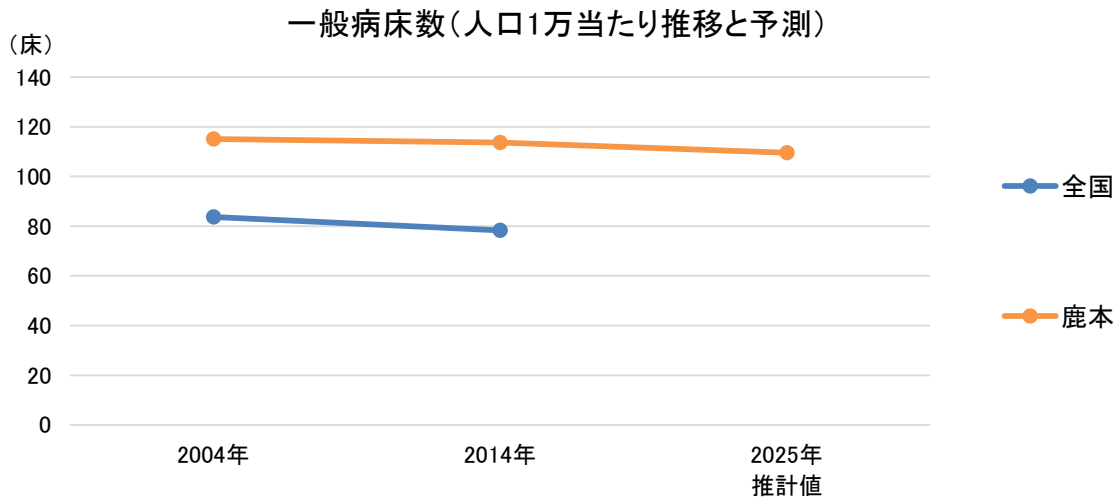
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が102人(人口10万人当たり177人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に98人(人口10万人当たり188人(全国平均245人)偏差値44)と、4人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



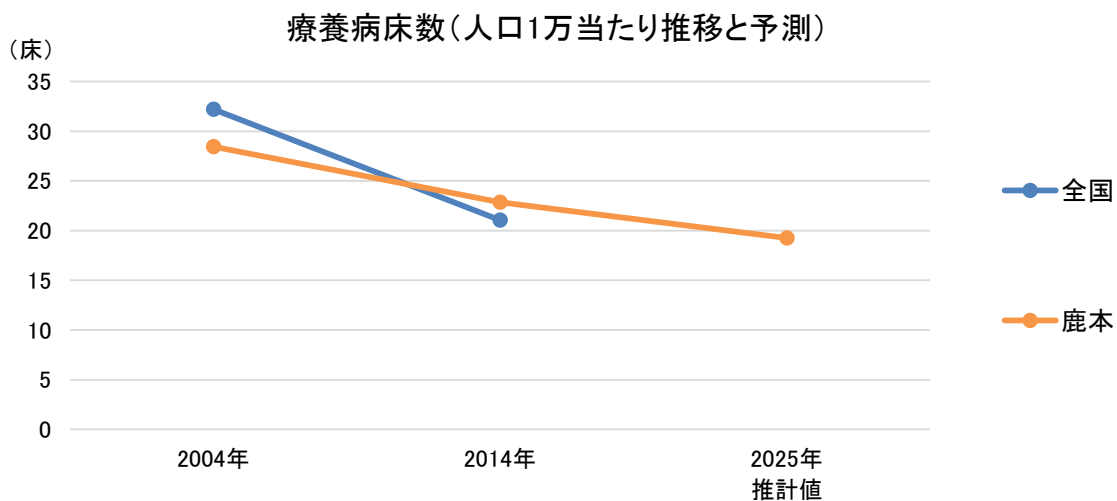
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が664床(人口1万人当たり115(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に594床(人口1万人当たり114(全国平均78)偏差値63)と、70床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には517床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



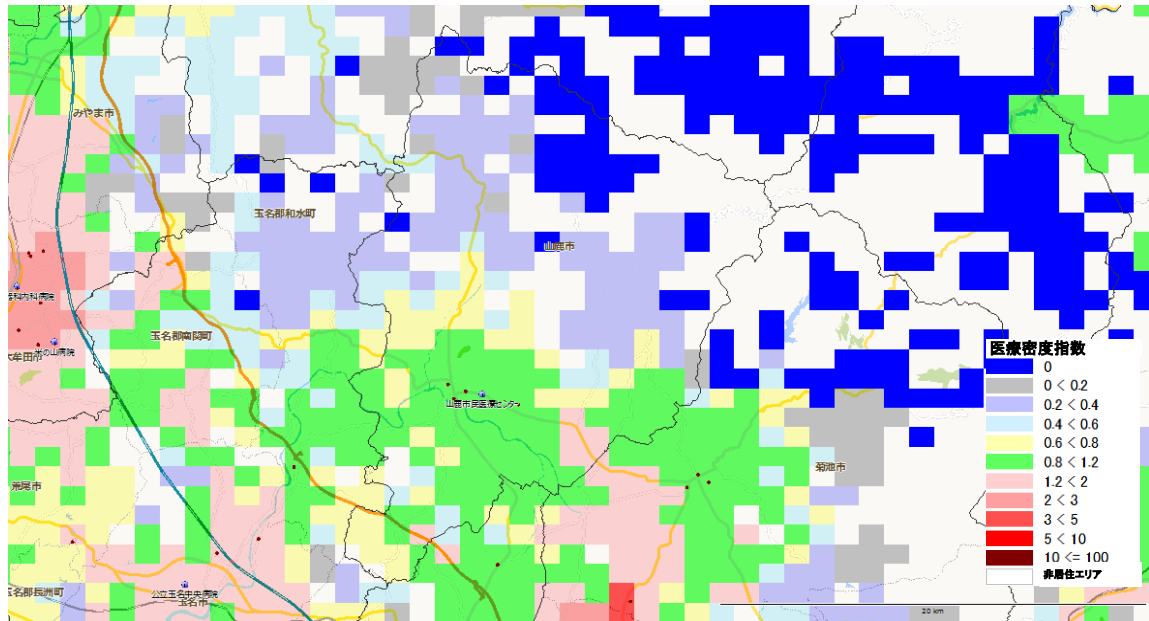
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が250床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に234床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、16床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には216床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



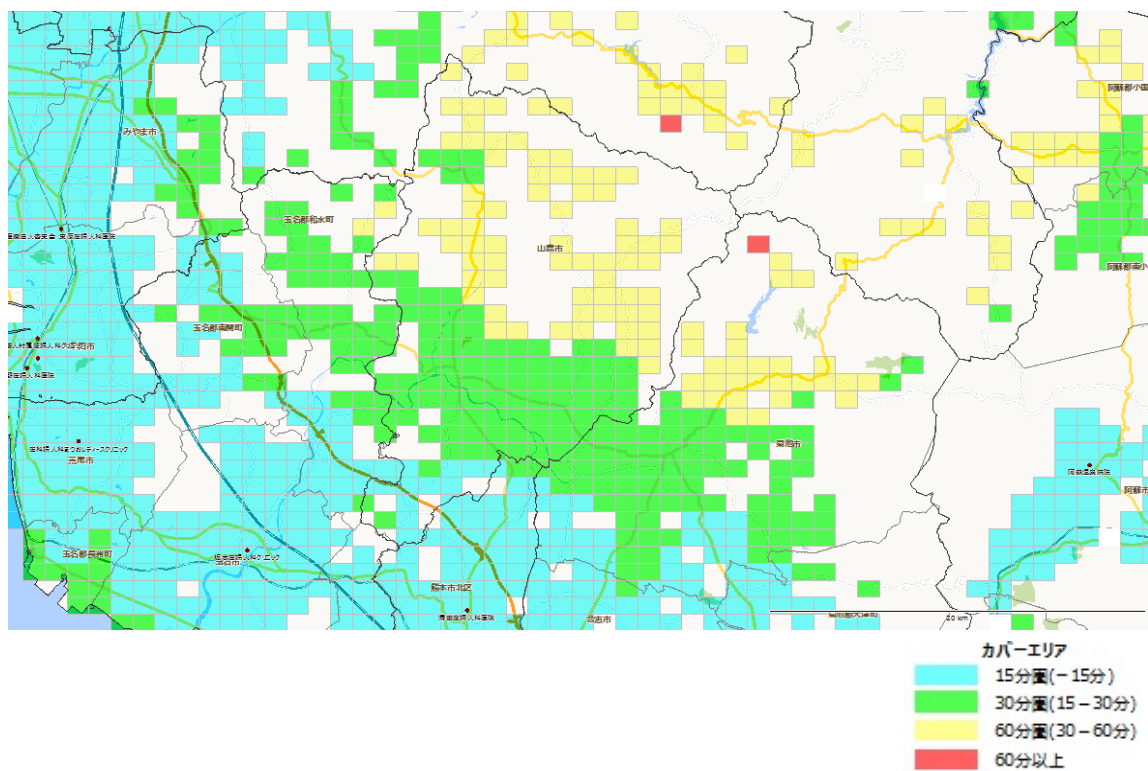
(鹿本医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

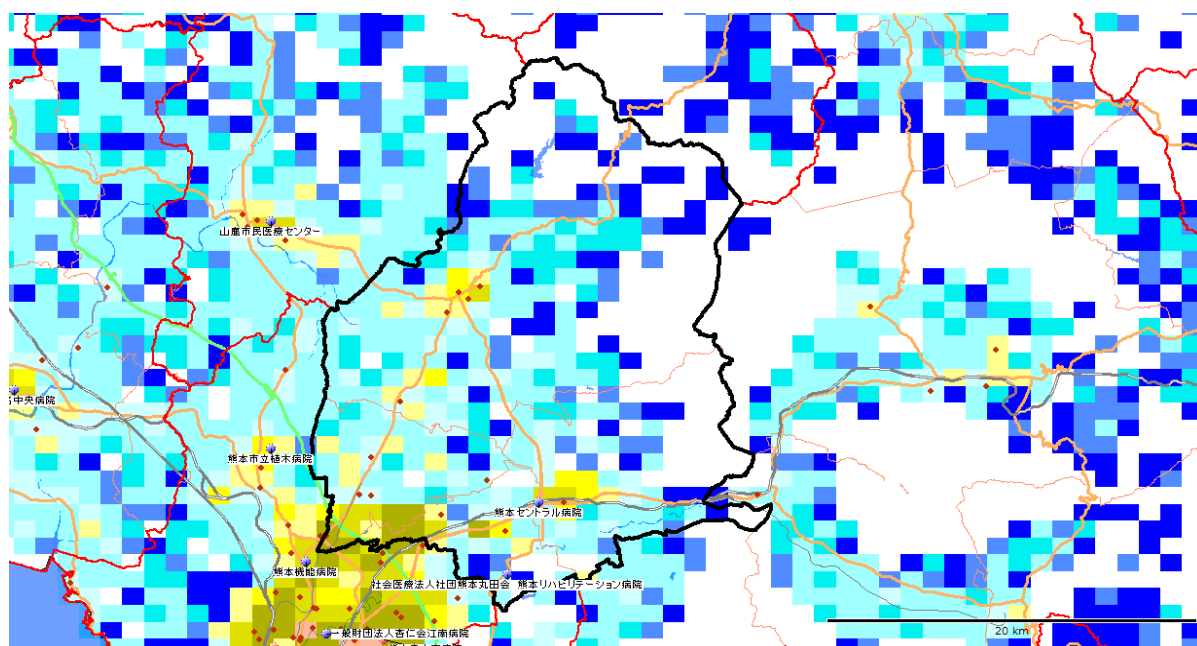
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-5. きくち 菊池医療圏

構成市区町村⁹ [菊池市](#) [合志市](#) [大津町](#) [菊陽町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院



(菊池医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 菊池(菊池市)は、総人口約181千人(2015年)、面積467km²、人口密度は388人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 菊池の総人口は2025年に179千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に175千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には32千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 菊池の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値56)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 菊池の一人当たり急性期医療密度指数²は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.77で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数40、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は75で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。菊池には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値70と非常に多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 菊池の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2025人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1479床(偏差値55)、高齢者住宅等が546床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1736人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、308人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(菊池医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

菊池医療圏の総人口は、2005年165050人が、2015年に180973人と10%増加し、2025年の人口が178831人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

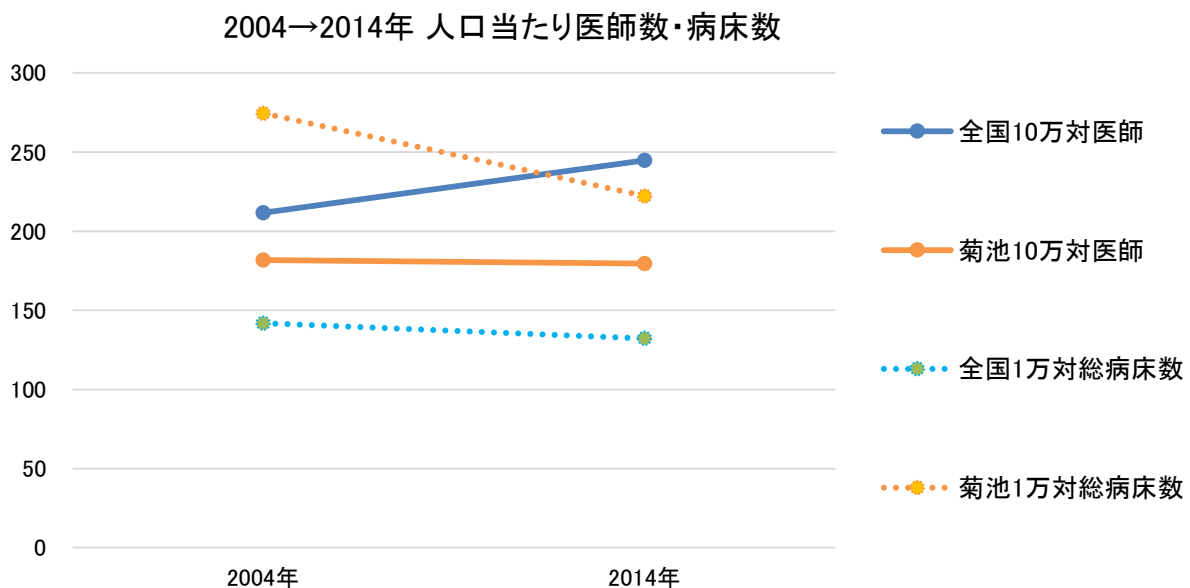
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が16(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に16(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が117(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に129(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、12診療所が増加した。

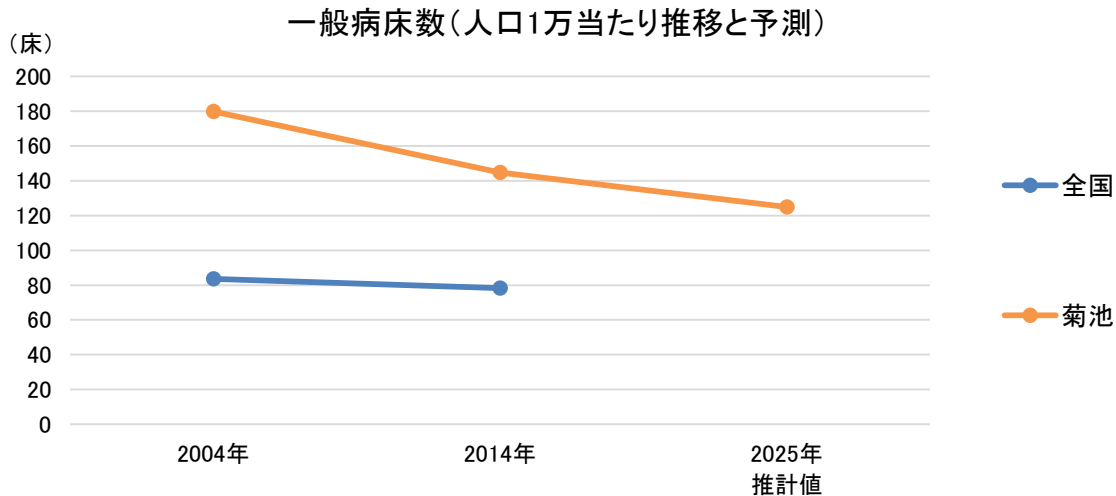
2004年の総病床数が4531床(人口1万人当たり275(全国平均142)偏差値74)であったが、2014年に4021床(人口1万人当たり222(全国平均132)偏差値66)と、510床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が300人(人口10万人当たり182人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に325人(人口10万人当たり180人(全国平均245人)偏差値43)と、25人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



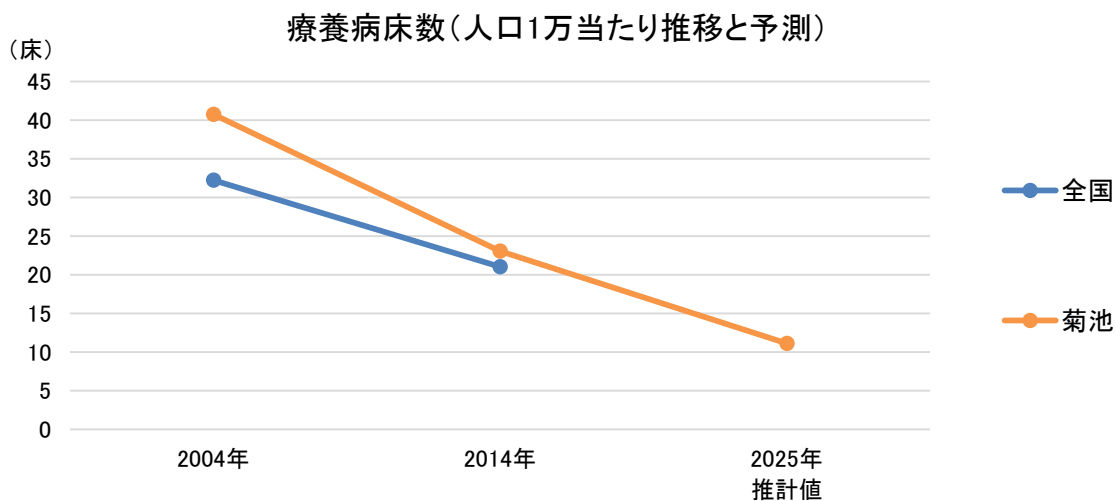
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2969床(人口1万人当たり180(全国平均84)偏差値84)であったが、2014年に2619床(人口1万人当たり145(全国平均78)偏差値74)と、350床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2234床(2025年の推計人口1万人当たり125)になることが予想される。



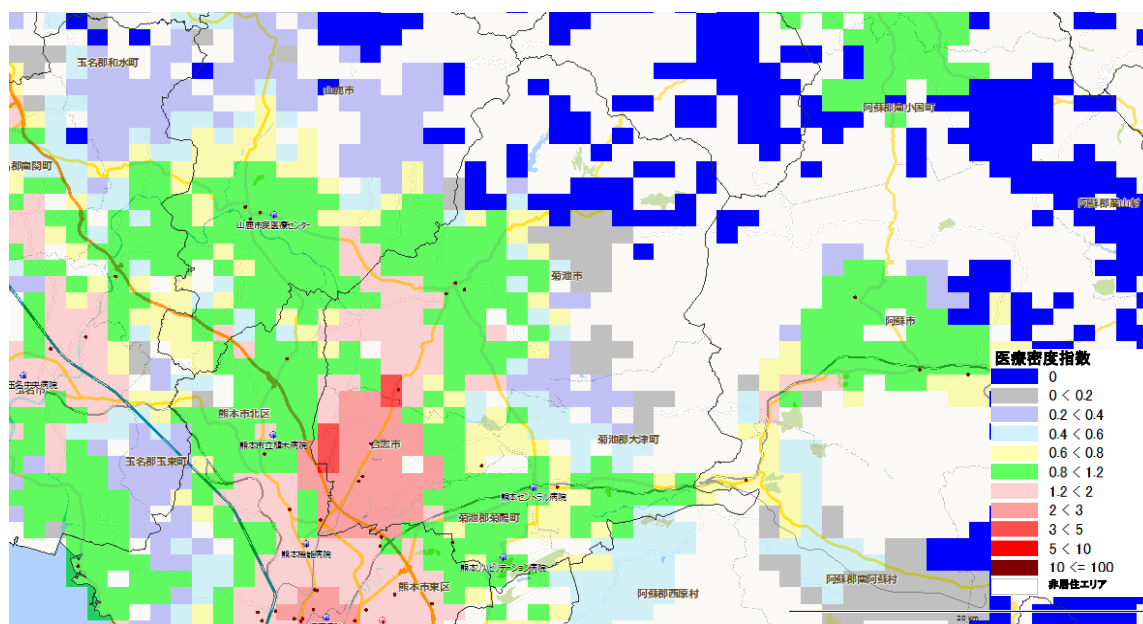
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が680床(75歳以上1000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に503床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、177床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には308床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



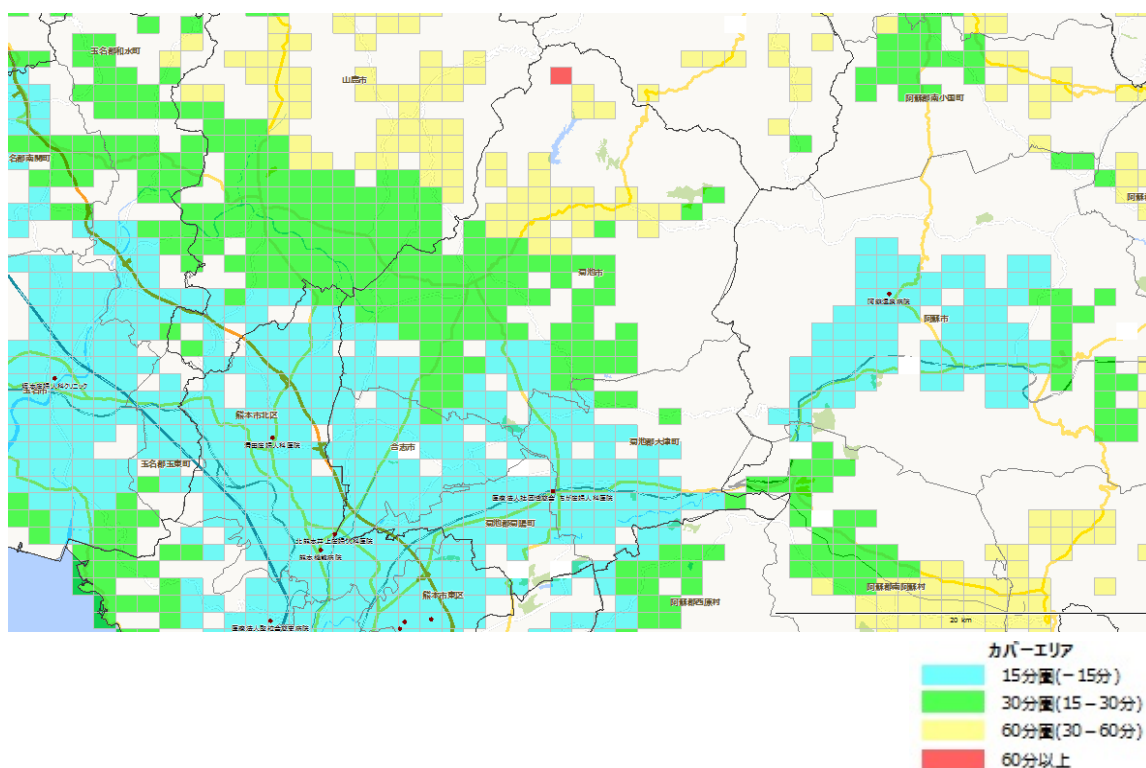
(菊池医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

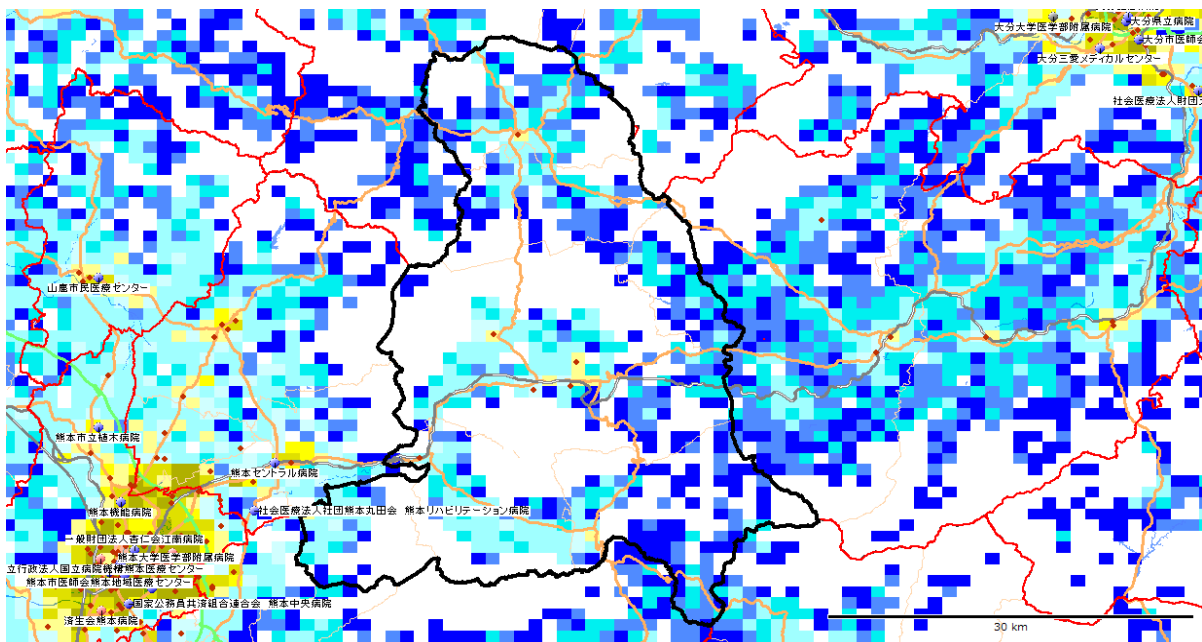
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-6. あそ阿蘇医療圏

構成市区町村⁹ [阿蘇市](#) [南小国町](#) [小国町](#) [産山村](#)
[高森町](#) [西原村](#) [南阿蘇村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(阿蘇医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 阿蘇(阿蘇市)は、総人口約64千人(2015年)、面積1080km²、人口密度は60人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 阿蘇の総人口は2025年に59千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に49千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 阿蘇の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値54)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 阿蘇の一人当たり急性期医療密度指数²は0.48、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.52で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数39、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は29と非常に少ない。阿蘇には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 阿蘇の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1420人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1030床(偏差値64)、高齢者住宅等が390床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1046人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム58、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、82人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(阿蘇医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

阿蘇医療圏の総人口は、2005年70339人が、2015年に64393人と8%減少し、2025年の人口が58808人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

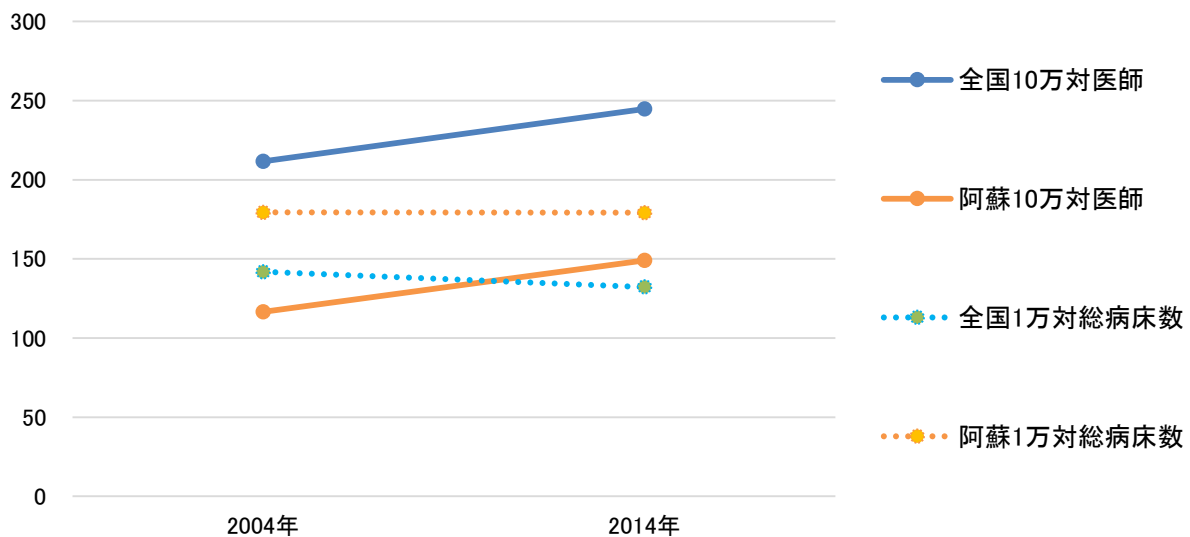
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に6(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に49(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が1262床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1154床(人口1万人当たり179(全国平均132)偏差値58)と、108床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

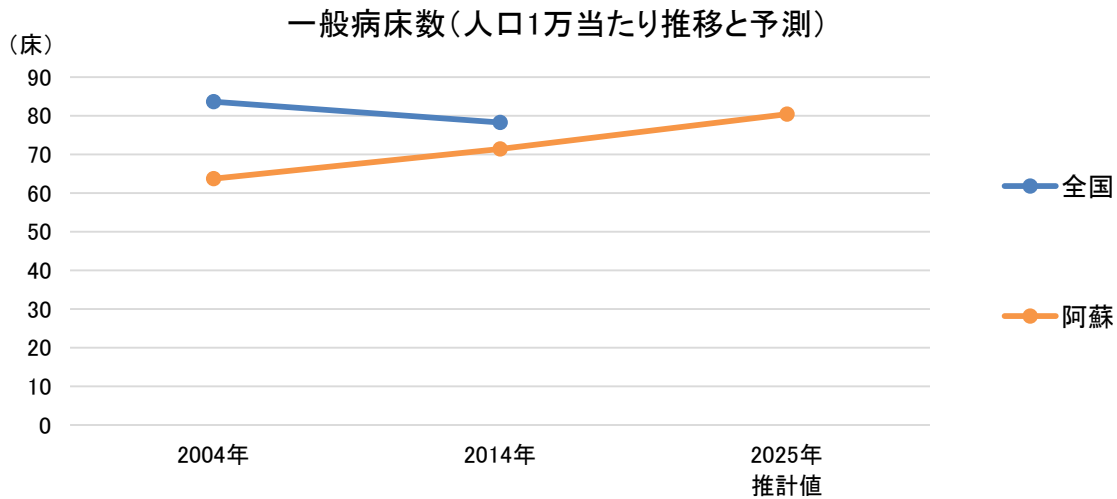
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が82人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に96人(人口10万人当たり149人(全国平均245人)偏差値40)と、14人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



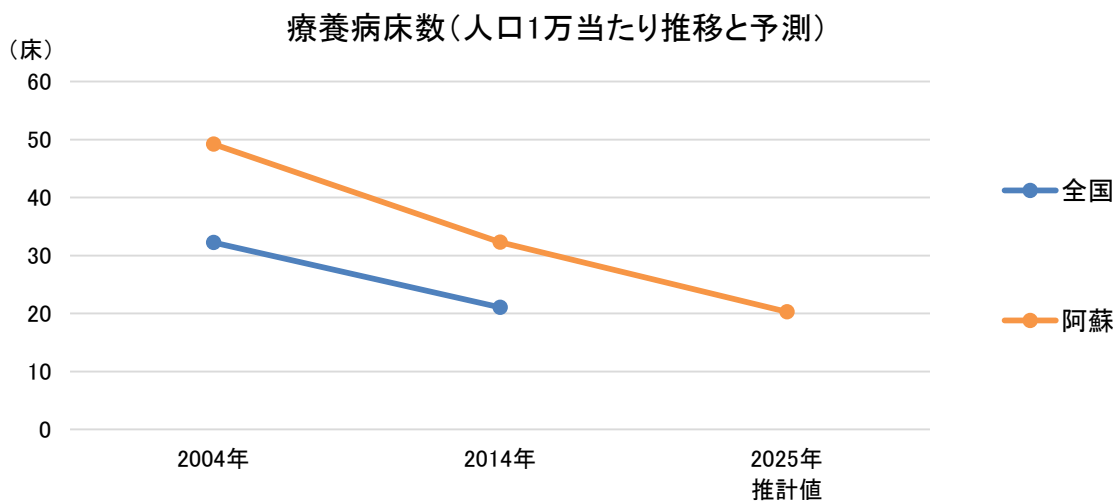
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が448床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に460床(人口1万人当たり71(全国平均78)偏差値47)と、12床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には473床(2025年の推計人口1万人当たり80)になることが予想される。



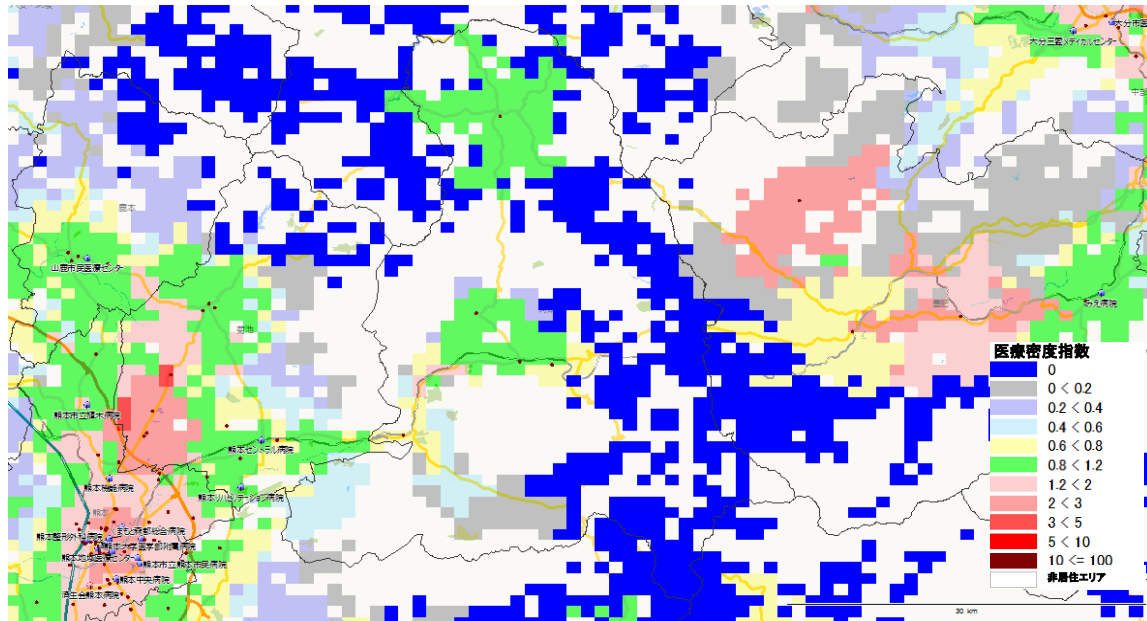
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が540床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に420床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値60)と、120床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には288床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



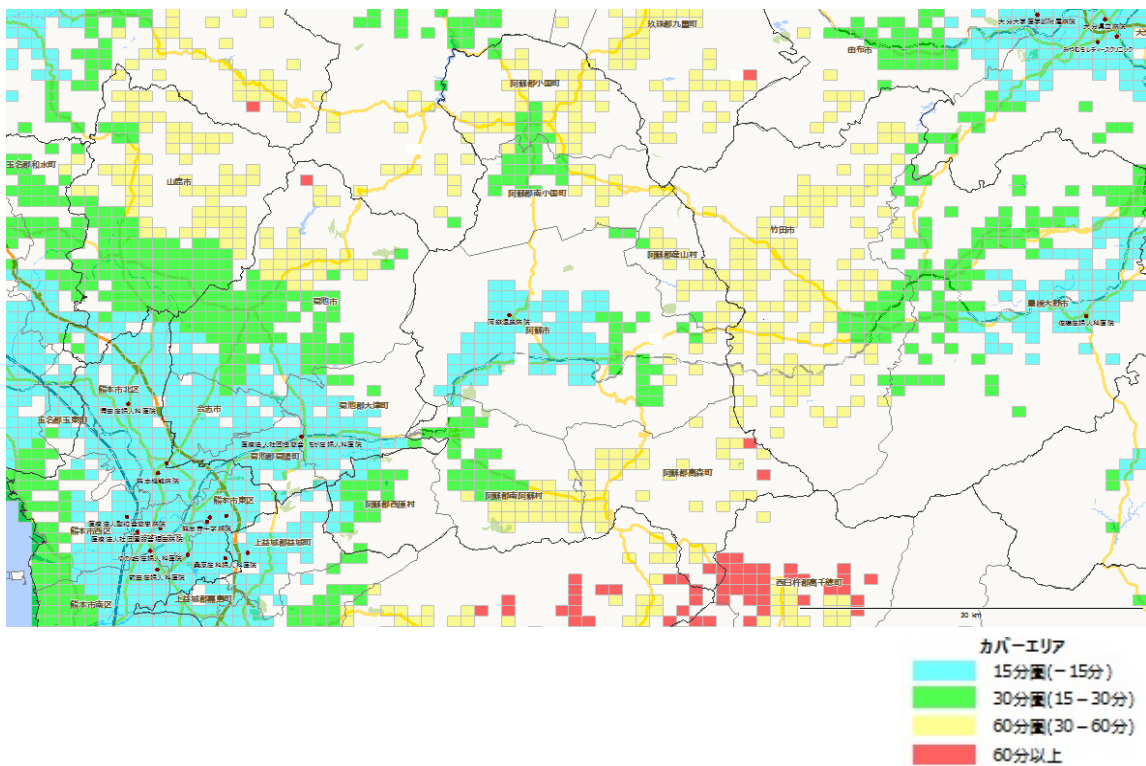
(阿蘇医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

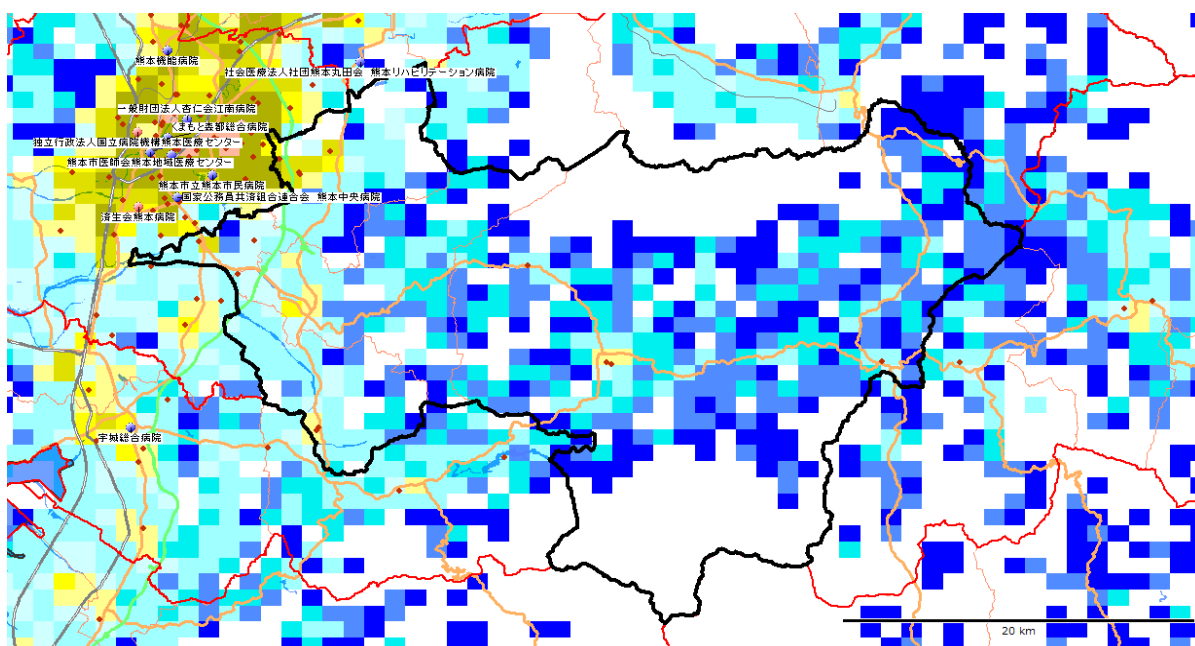
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-7. かみましき 上益城医療圏

構成市区町村⁹ [御船町](#) [山都町](#) [嘉島町](#) [益城町](#) [甲佐町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(上益城医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上益城(上益城郡御船町)は、総人口約86千人(2015年)、面積784km²、人口密度は109人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上益城の総人口は2025年に78千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に67千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上益城の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値58)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上益城の一人当たり急性期医療密度指数²は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.83で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は34で、一般病床数は非常に少ない。全身麻酔数の偏差値は29と非常に少ない。上益城には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上益城の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1500人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1205床(偏差値64)、高齢者住宅等が295床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1285人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値90と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、140人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は±0%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(上益城医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上益城医療圏の総人口は、2005年89755人が、2015年に85768人と4%減少し、2025年の人口が78026人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

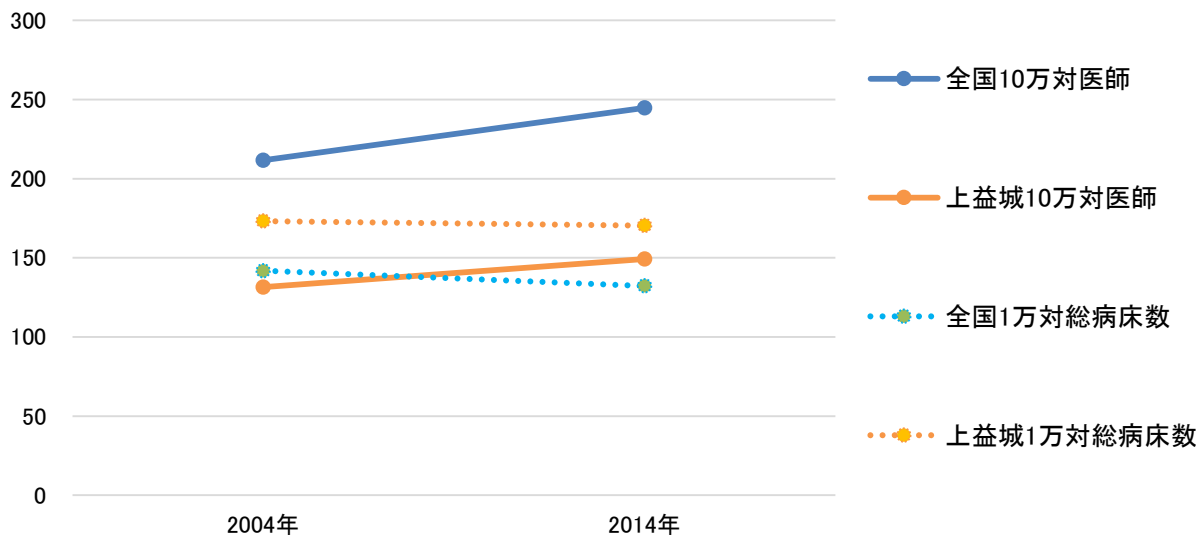
2004年の病院数が13(人口10万人当たり14.5病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2014年に13(人口10万人当たり15.2病院(全国平均6.7)偏差値71)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が55(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に61(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、6診療所が増加した。

2004年の総病床数が1555床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に1462床(人口1万人当たり170(全国平均132)偏差値57)と、93床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

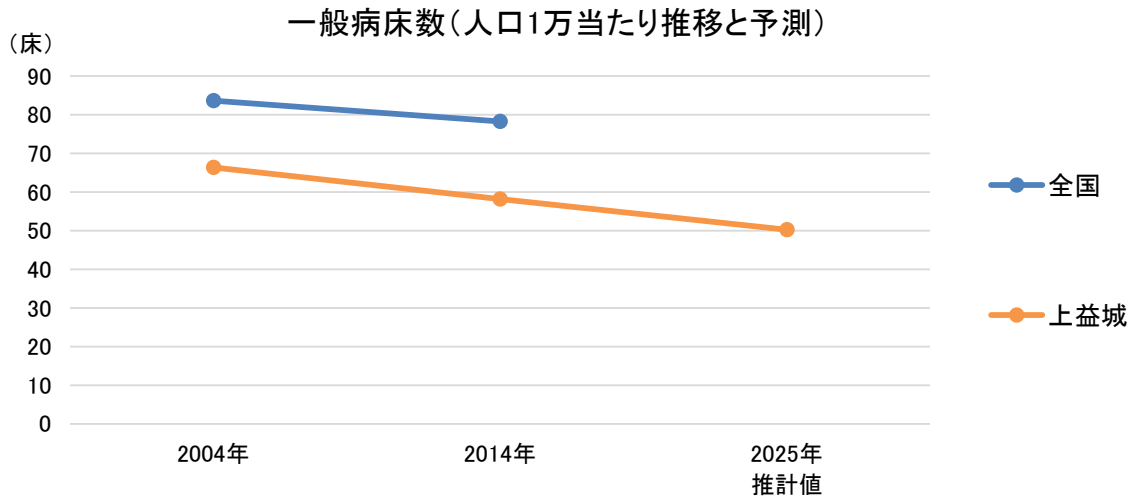
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が118人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に128人(人口10万人当たり149人(全国平均245人)偏差値40)と、10人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



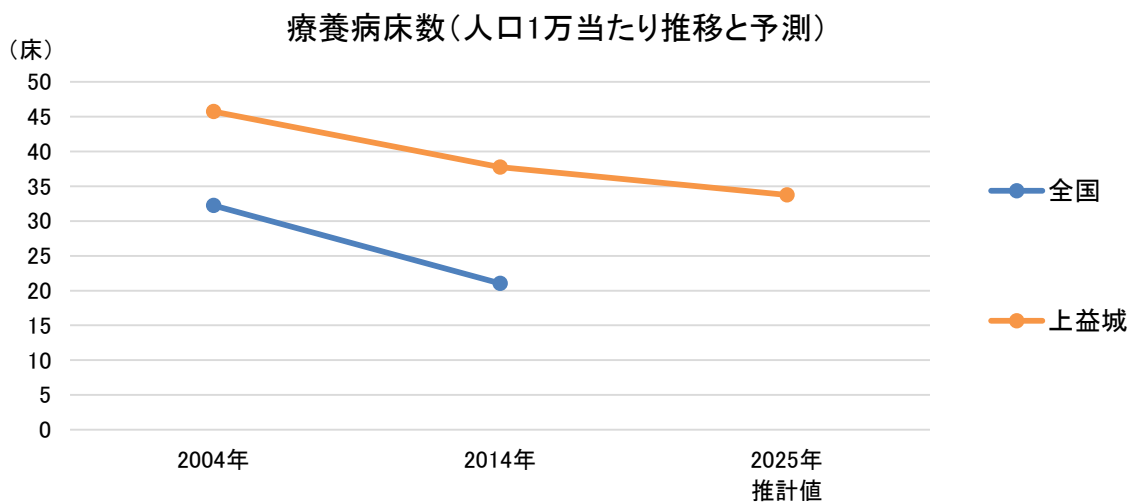
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が596床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に499床(人口1万人当たり58(全国平均78)偏差値43)と、97床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には392床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



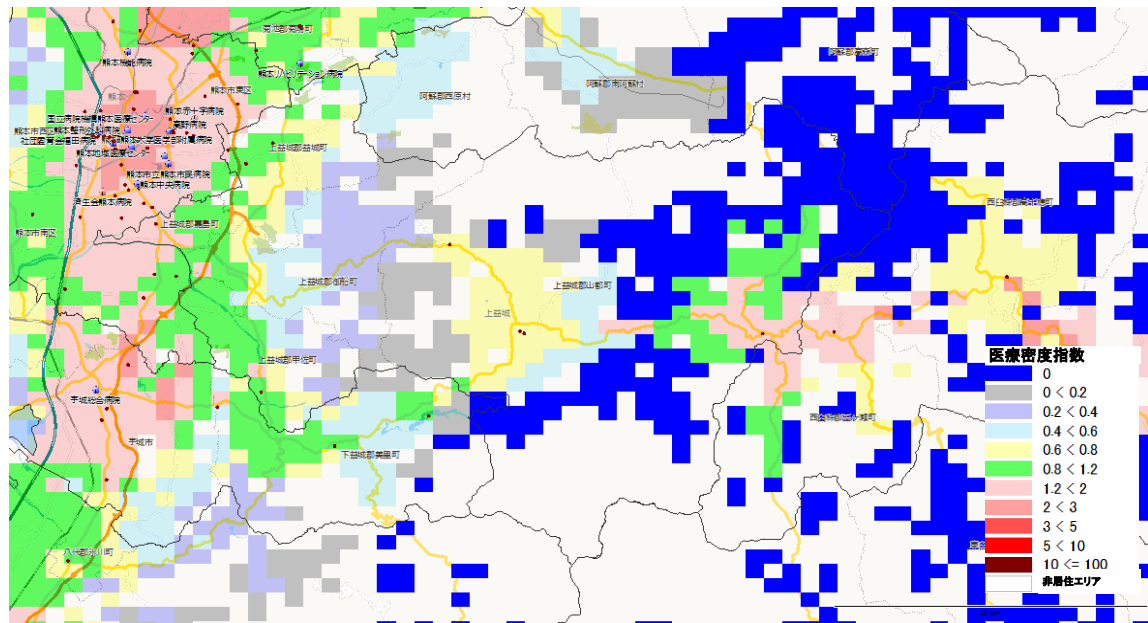
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が572床(75歳以上1000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に576床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値64)と、4床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には580床(2025年の推計75歳以上1000人当たり34)になることが予想される。



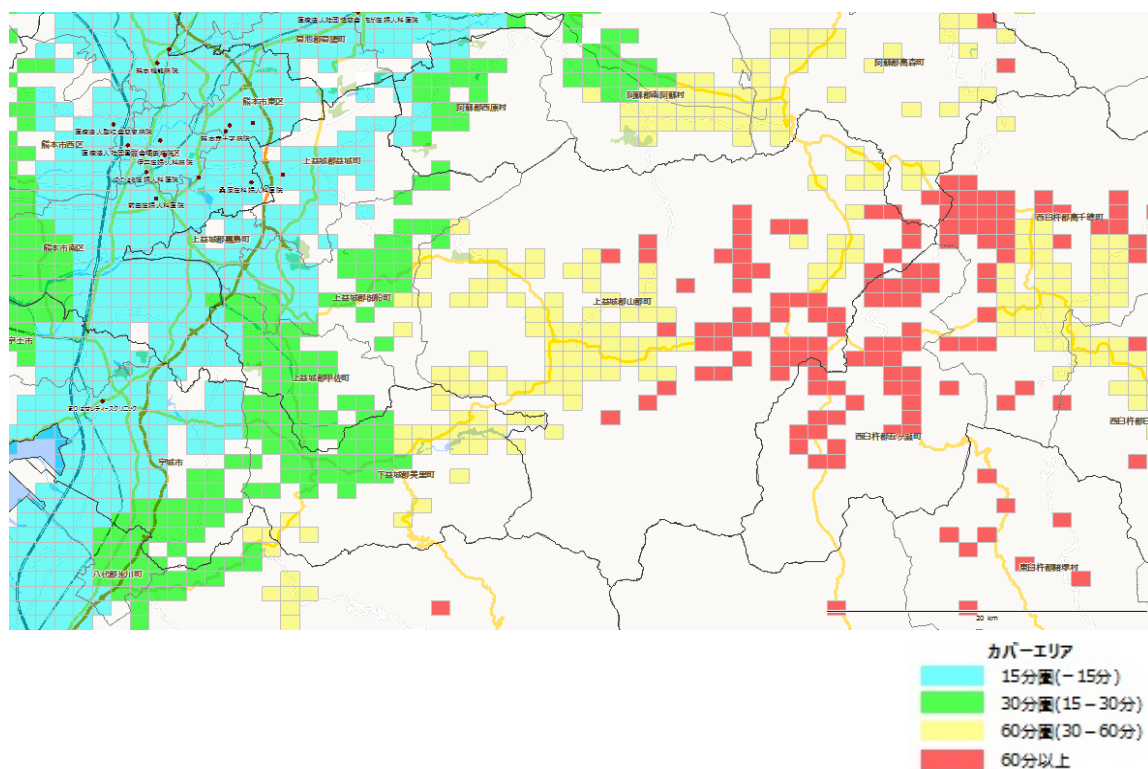
(上益城医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

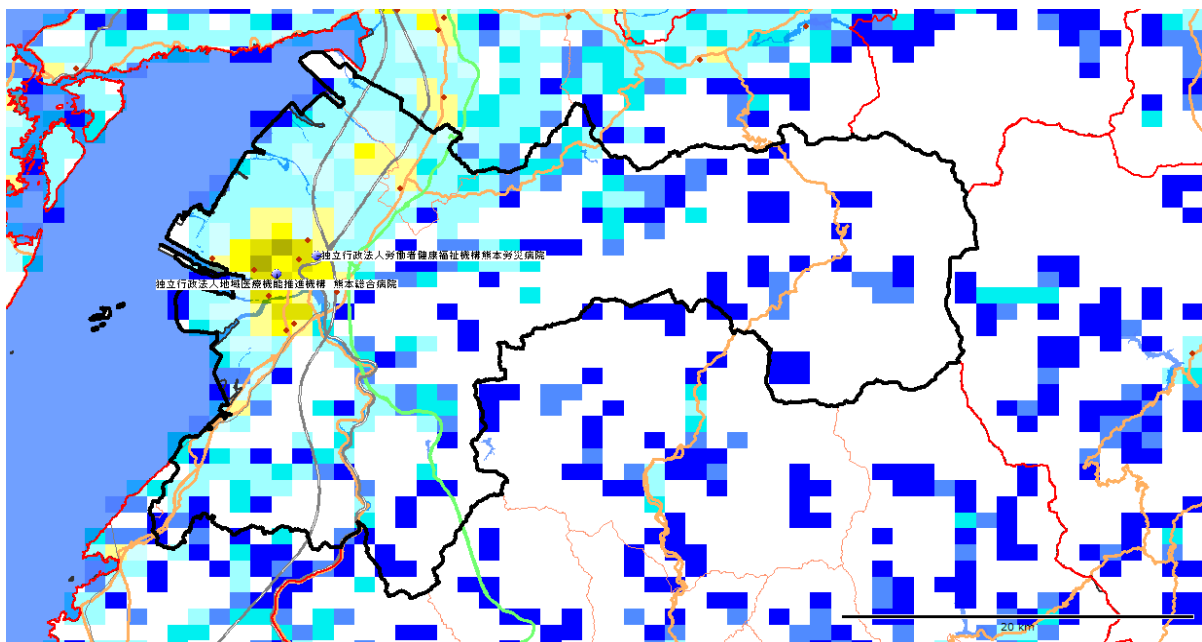


43-8. やっしろ 八代医療圏

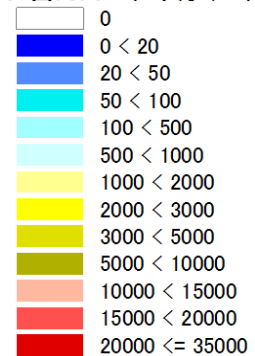
構成市区町村⁹ [八代市](#)

[氷川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(八代医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八代(八代市)は、総人口約139千人(2015年)、面積715km²、人口密度は195人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八代の総人口は2025年に124千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に102千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の24千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八代の一人当たり医療費(国保)は375千円(偏差値57)、介護給付費は296千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八代の一人当たり急性期医療密度指数²は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.39で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は60と多い。八代には、年間全身麻酔件数が1000例以上のJCHO熊本総合病院(Ⅲ群)、熊本労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八代の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2156人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1650床(偏差値56)、高齢者住宅等が506床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1726人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、468人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(八代医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八代医療圏の総人口は、2005年150118人が、2015年に139466人と7%減少し、2025年の人口が124094人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

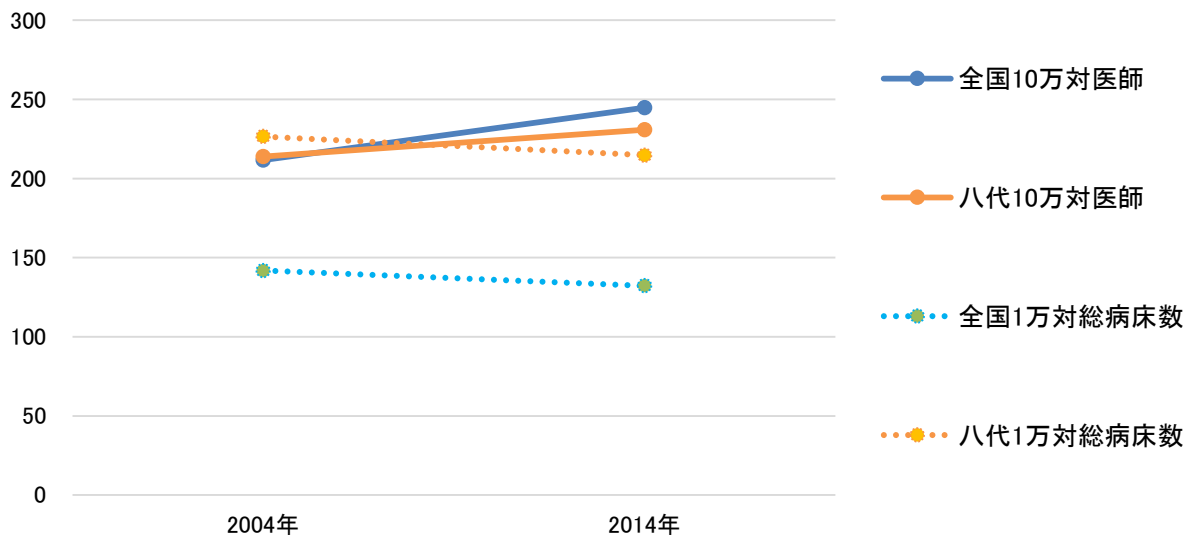
2004年の病院数が13(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に13(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に129(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値57)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が3401床(人口1万人当たり227(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に2995床(人口1万人当たり215(全国平均132)偏差値65)と、406床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

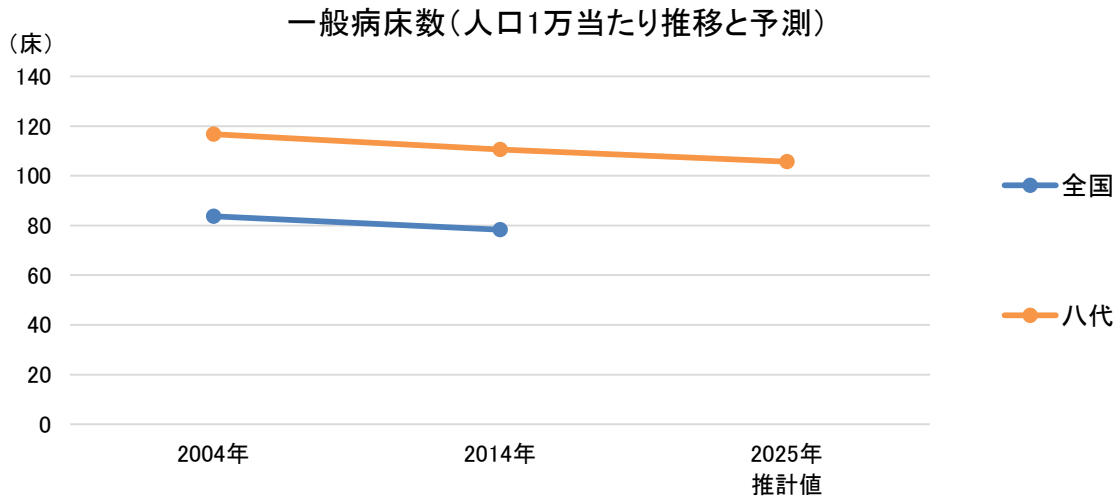
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が321人(人口10万人当たり214人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に322人(人口10万人当たり231人(全国平均245人)偏差値49)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



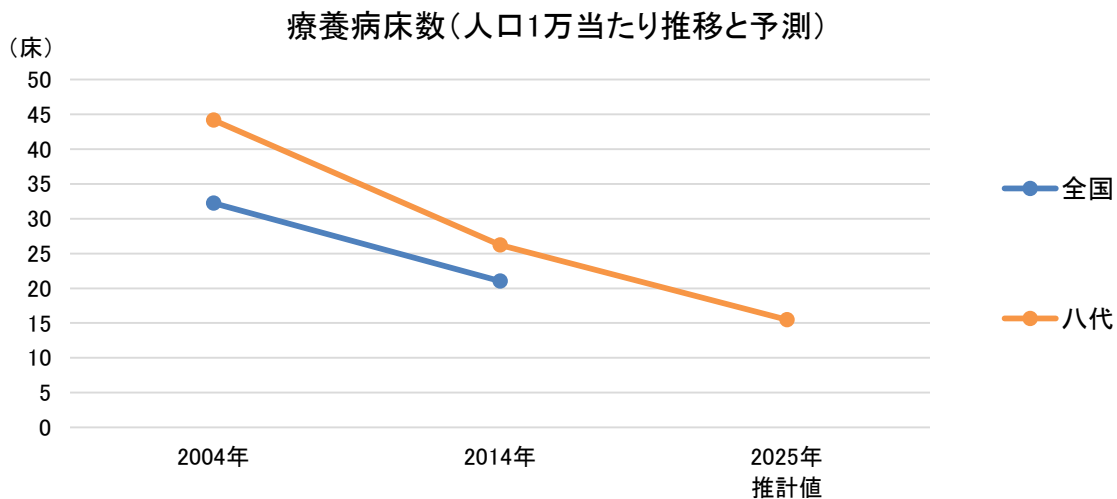
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1752床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に1542床(人口1万人当たり111(全国平均78)偏差値62)と、210床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1311床(2025年の推計人口1万人当たり106)になることが予想される。



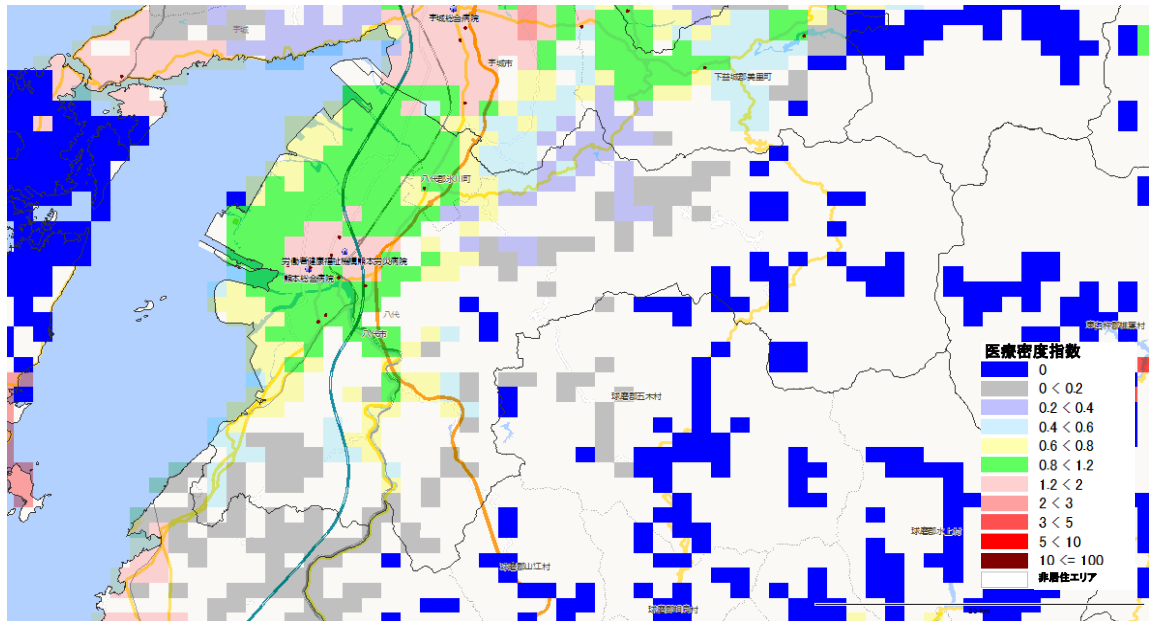
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が829床(75歳以上1000人当たり44(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に633床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値54)と、196床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には417床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



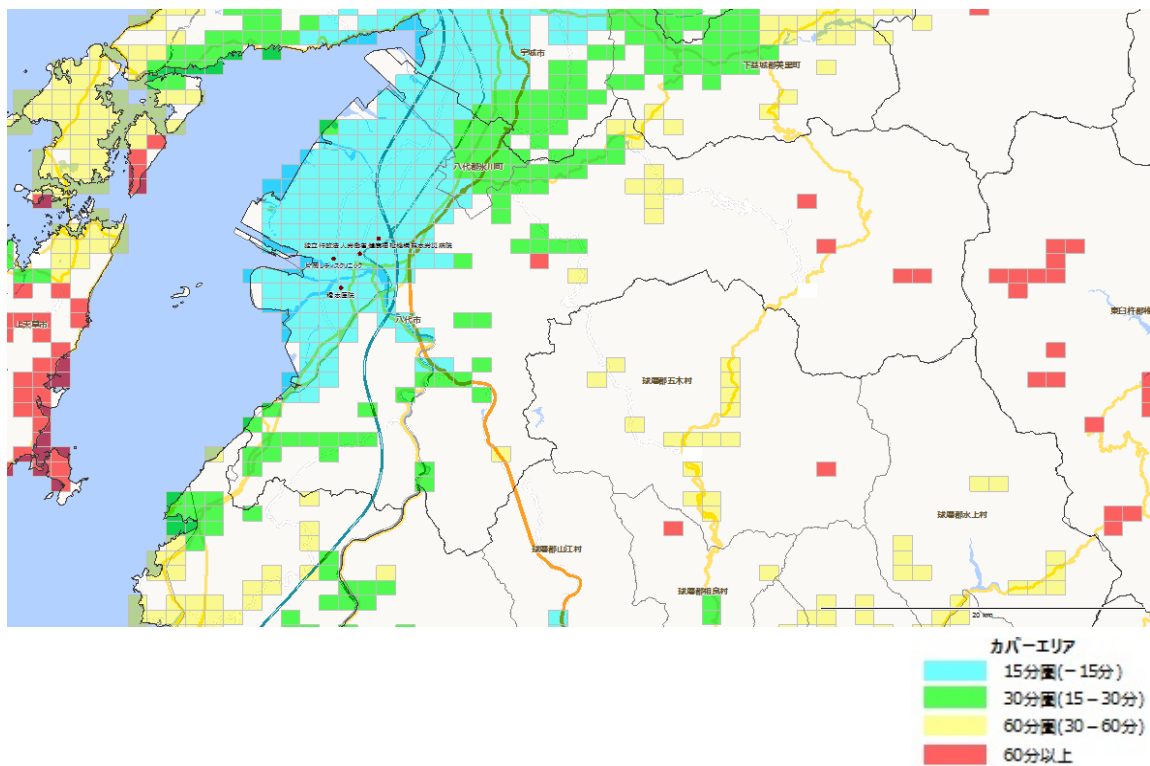
(八代医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

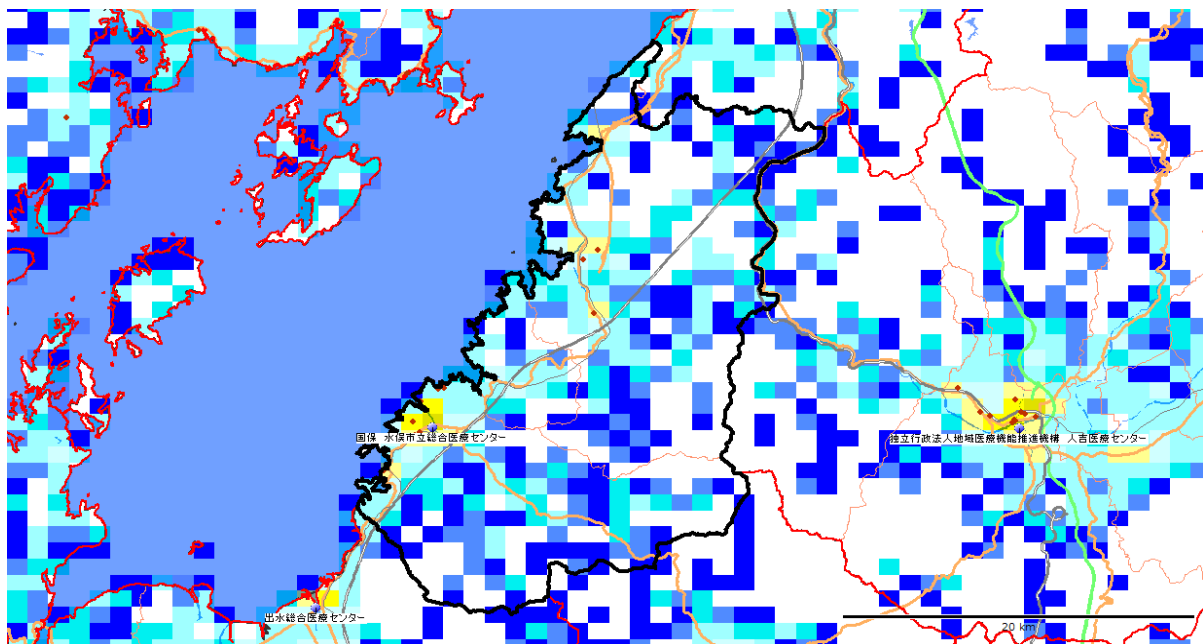
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推定値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



43-9. あしきた 芦北医療圏

構成市区町村⁹ [水俣市](#) [芦北町](#) [津奈木町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(芦北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 芦北(水俣市)は、総人口約48千人(2015年)、面積431km²、人口密度は111人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 芦北の総人口は2025年に40千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に31千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 芦北の一人当たり医療費(国保)は549千円(偏差値96)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 芦北の一人当たり急性期医療密度指数²は1.94、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.37で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が56(病院医師数58、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は86と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は91で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。芦北には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は77と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は74で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 芦北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1109人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が846床(偏差値66)、高齢者住宅等が263床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、885人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム59、サ高住33である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、89人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は+21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(芦北医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

芦北医療圏の総人口は、2005年55384人が、2015年に47745人と14%減少し、2025年の人口が40378人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

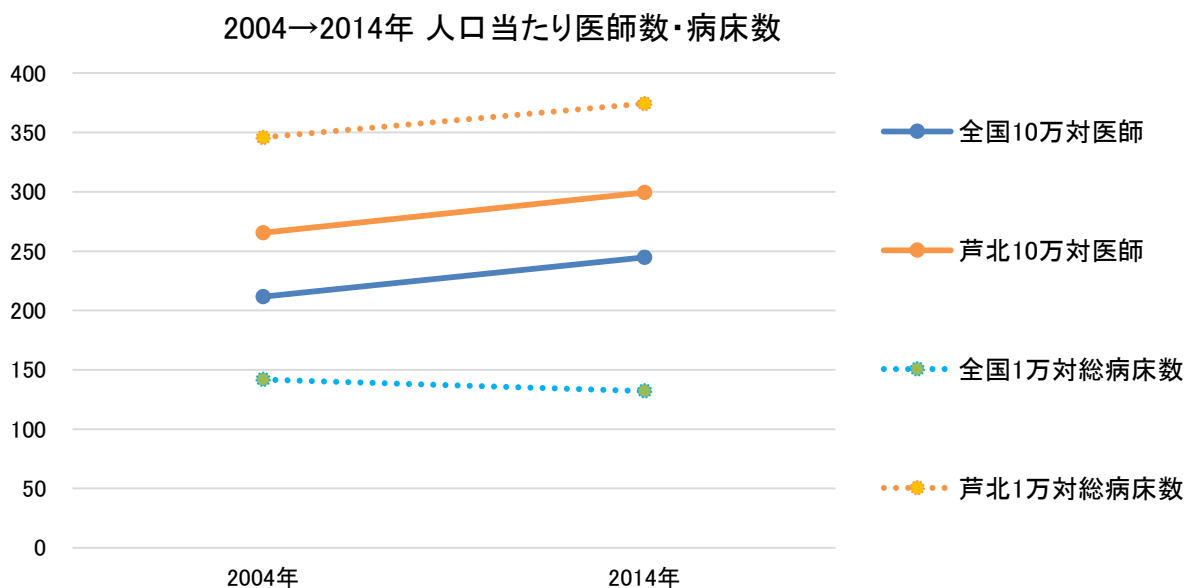
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり19.9病院(全国平均7.1)偏差値83)であったが、2014年に11(人口10万人当たり23病院(全国平均6.7)偏差値90)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が50(人口10万人当たり90診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に46(人口10万人当たり96診療所(全国平均79)偏差値59)と、4診療所が減少した。

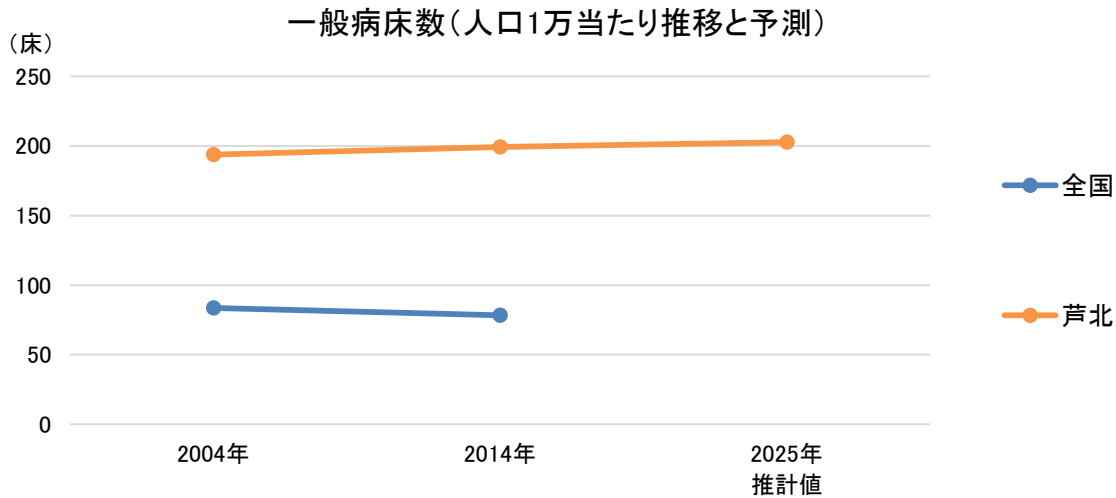
2004年の総病床数が1915床(人口1万人当たり346(全国平均142)偏差値86)であったが、2014年に1787床(人口1万人当たり374(全国平均132)偏差値93)と、128床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が147人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に143人(人口10万人当たり300人(全国平均245人)偏差値56)と、4人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



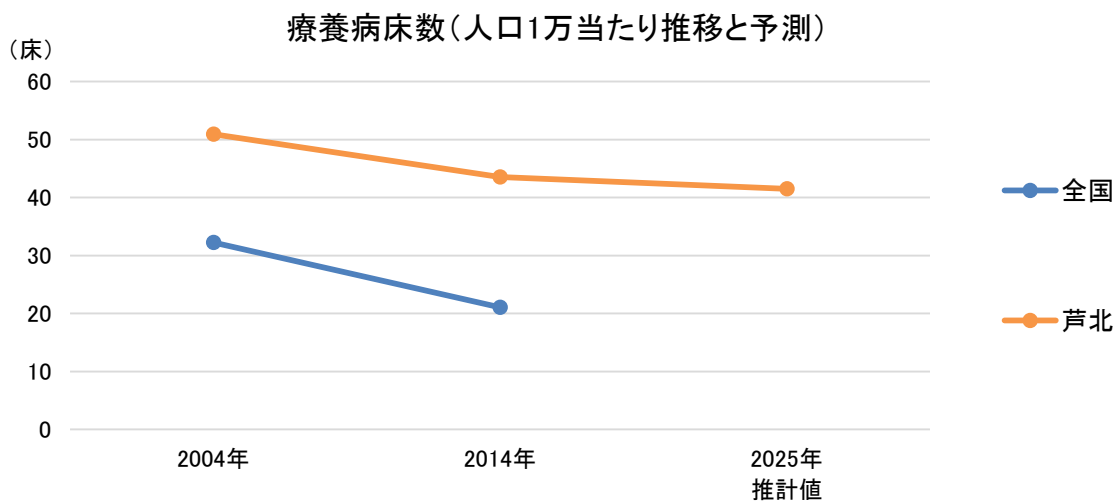
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1073床(人口1万人当たり194(全国平均84)偏差値89)であったが、2014年に952床(人口1万人当たり199(全国平均78)偏差値95)と、121床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には819床(2025年の推計人口1万人当たり203)になることが予想される。



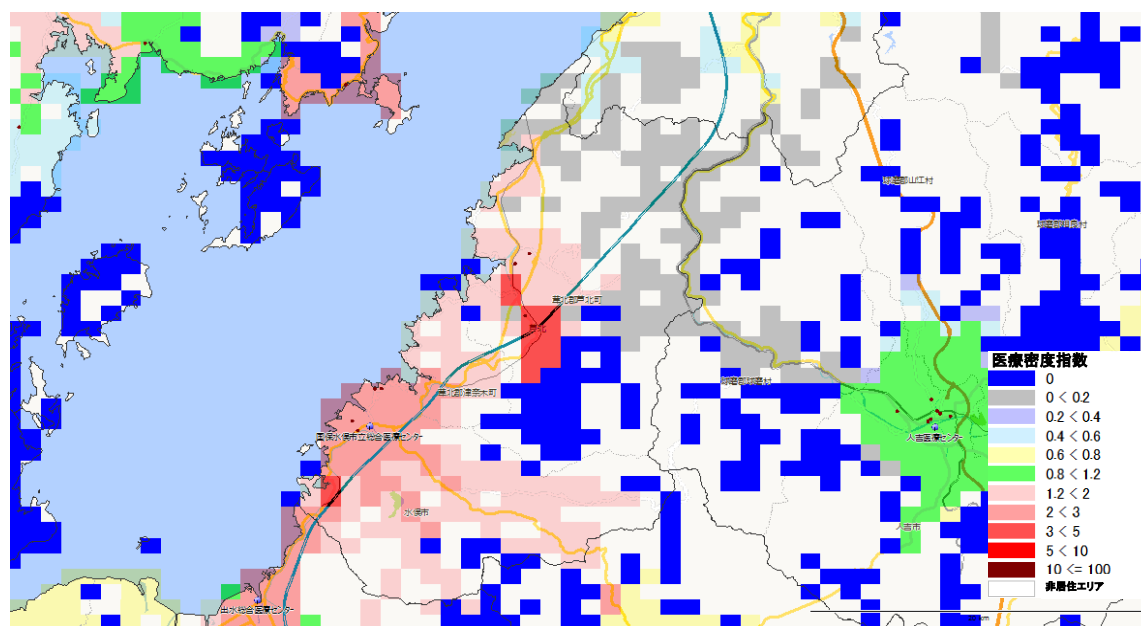
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が462床(75歳以上1000人当たり51(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に451床(75歳以上1000人当たり44(全国平均21)偏差値69)と、11床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には439床(2025年の推計75歳以上1000人当たり41)になることが予想される。



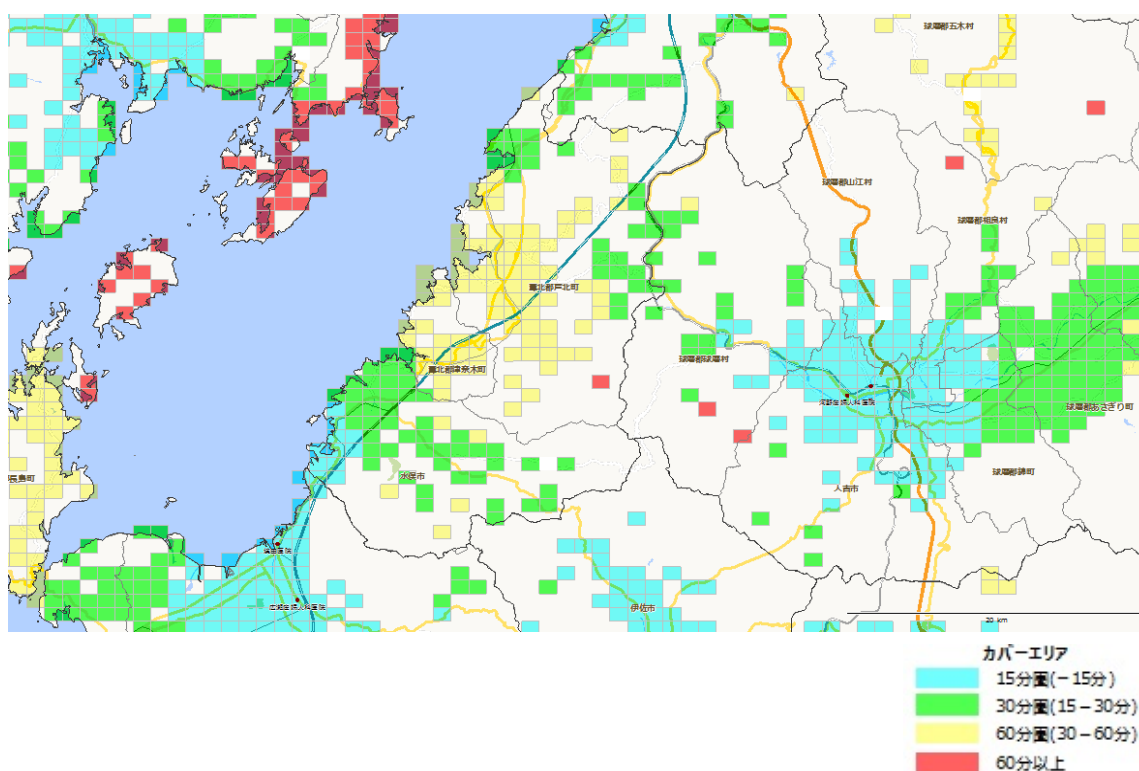
(芦北医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



くま 43-10. 球磨医療圏

構成市区町村⁹

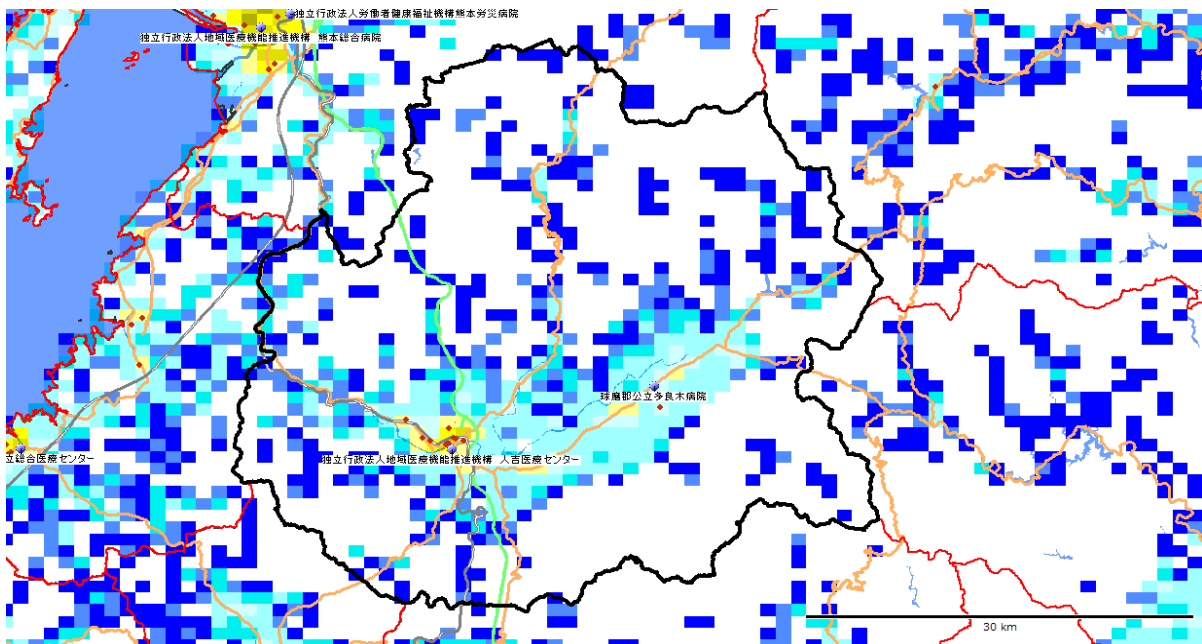
[人吉市](#)
[水上村](#)
[球磨村](#)

[錦町](#)
[相良村](#)
[あさぎり町](#)

[多良木町](#)
[五木村](#)

[湯前町](#)
[山江村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(球磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 球磨(人吉市)は、総人口約89千人(2015年)、面積1537km²、人口密度は58人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 球磨の総人口は2025年に78千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に62千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて18千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には17千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 球磨の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は308千円(偏差値66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 球磨の一人当たり急性期医療密度指数2は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数2は4.56で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。球磨には、年間全身麻酔件数が1000例以上のJCHO人吉医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 球磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1720人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1358床(偏差値62)、高齢者住宅等が362床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1470人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設63、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値74と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、167人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(球磨医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

球磨医療圏の総人口は、2005年100694人が、2015年に88820人と12%減少し、2025年の人口が77632人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

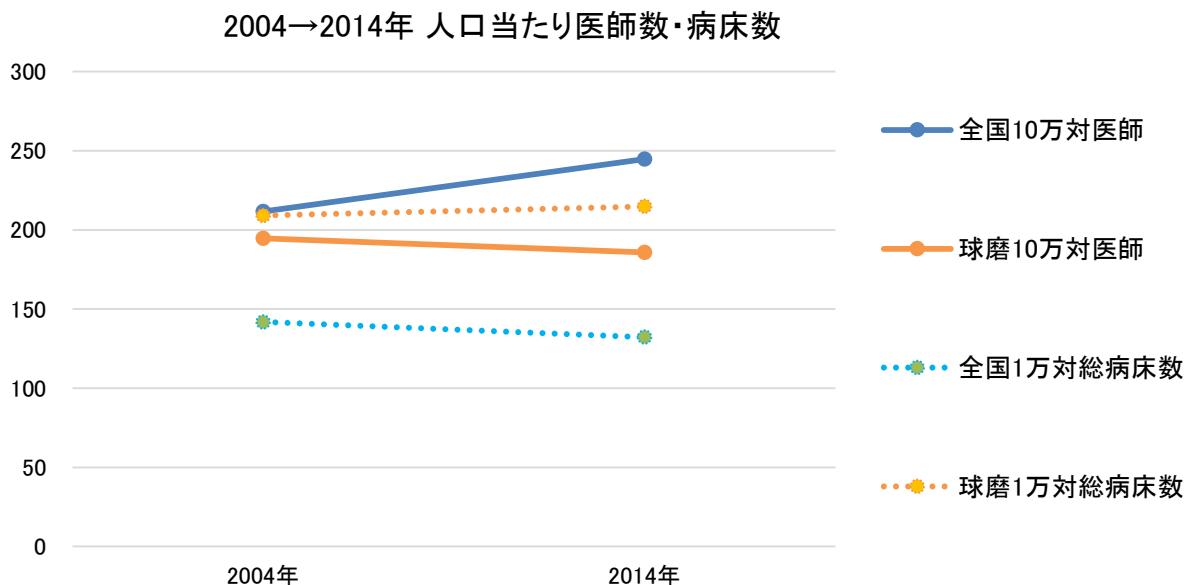
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が13(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に13(人口10万人当たり14.6病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が83(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に84(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値58)と、1診療所が増加した。

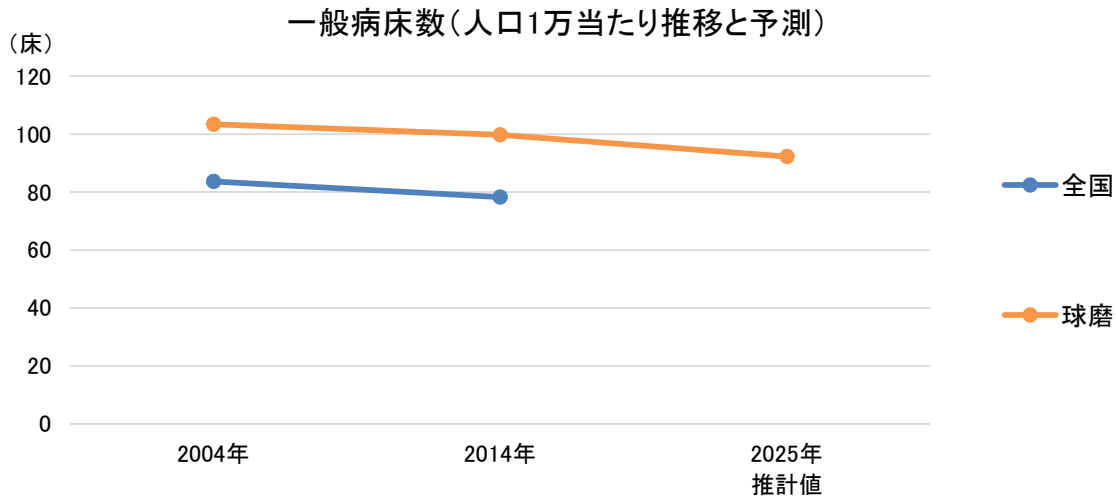
2004年の総病床数が2105床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に1908床(人口1万人当たり215(全国平均132)偏差値65)と、197床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が196人(人口10万人当たり195人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり186人(全国平均245人)偏差値44)と、31人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



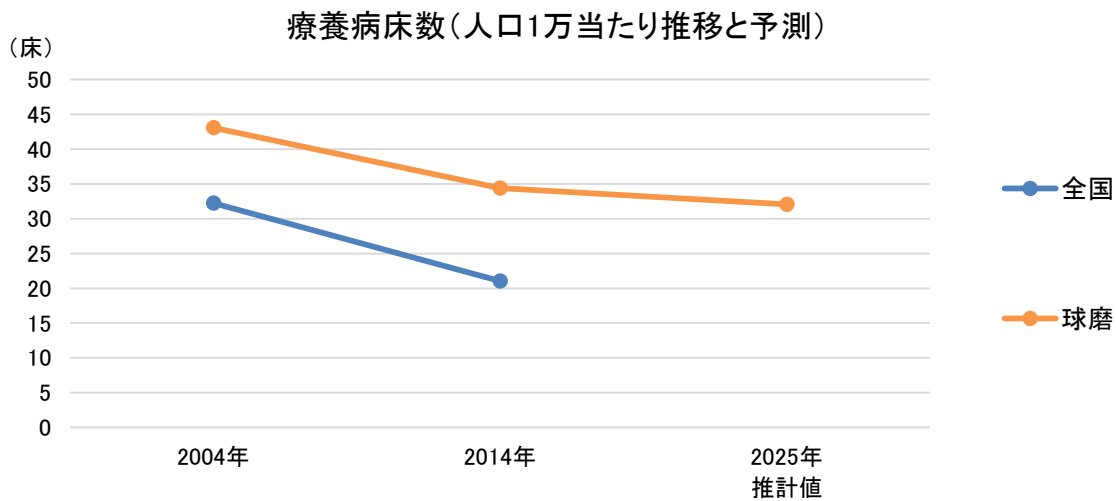
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1041床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に886床(人口1万人当たり100(全国平均78)偏差値58)と、155床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には716床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



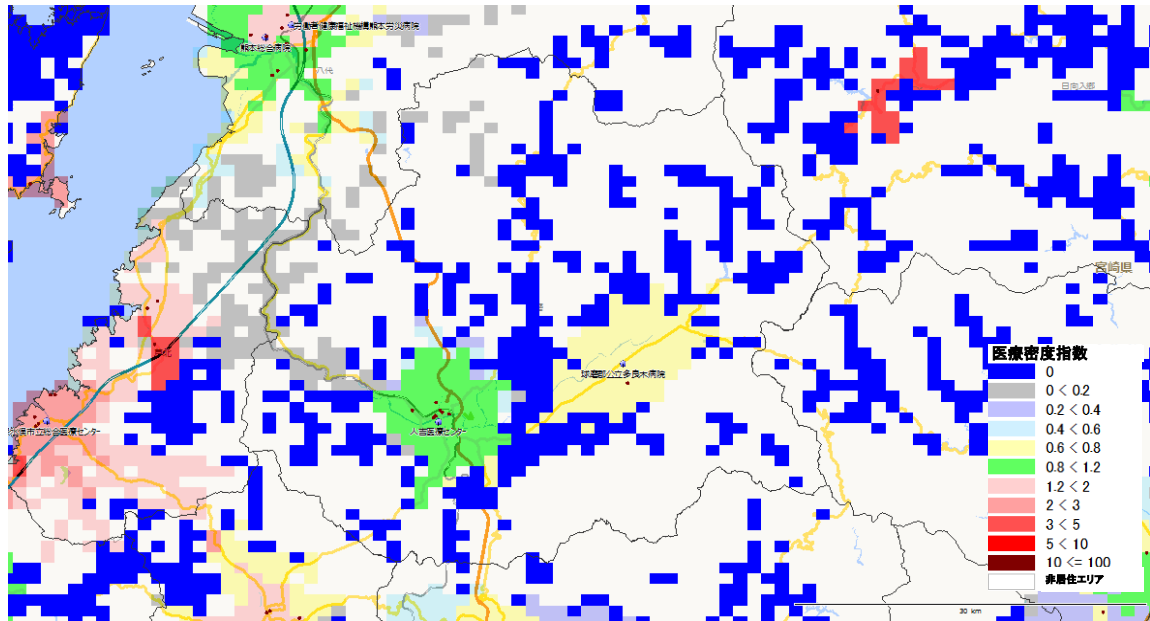
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が640床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に614床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、26床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には585床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。



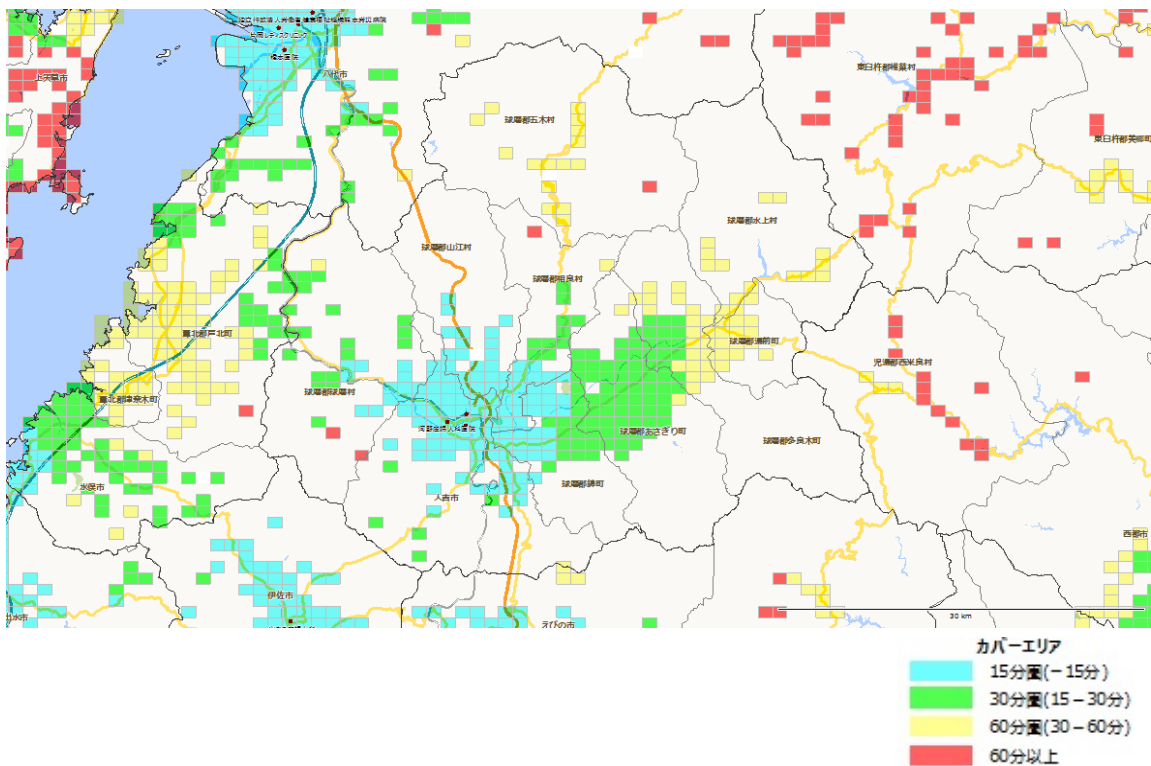
(球磨医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

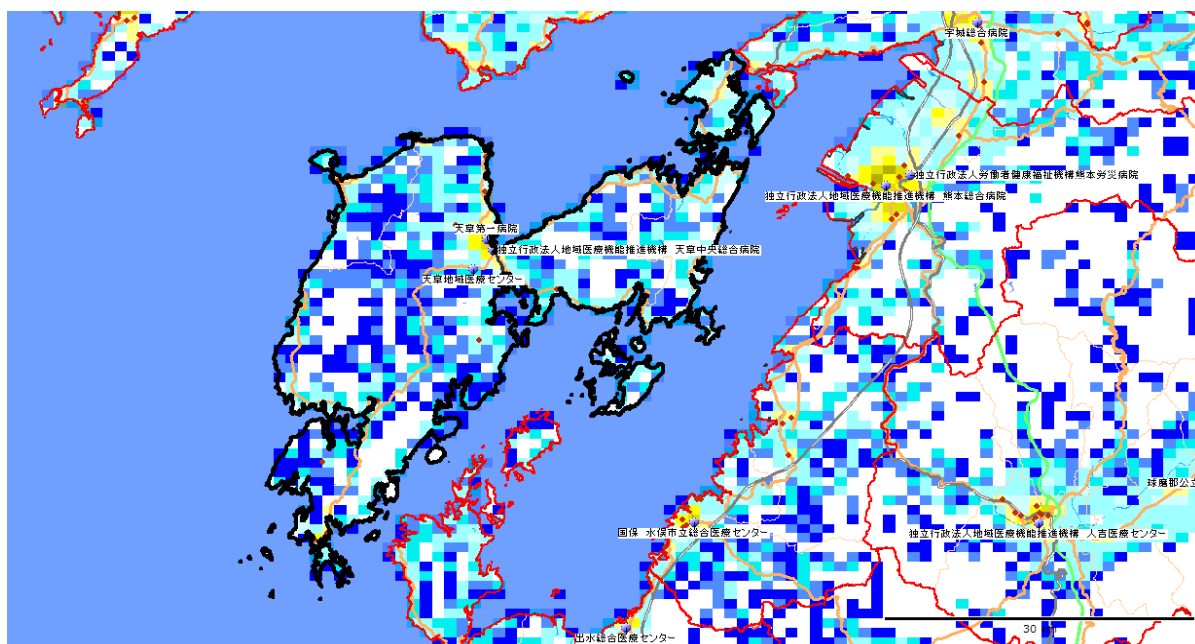
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



あまくさ 43-11. 天草医療圏

構成市区町村⁹ [上天草市](#) [天草市](#) [苓北町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(天草医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 天草(上天草市)は、総人口約117千人(2015年)、面積878km²、人口密度は134人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 天草の総人口は2025年に99千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に74千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて25千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 天草の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値66)、介護給付費は291千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 天草の一人当たり急性期医療密度指数2は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.65で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。天草には、年間全身麻酔件数が1000例以上の天草地域医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は86と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 天草の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2329人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1979床(偏差値63)、高齢者住宅等が350床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1965人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住31である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、186人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(天草医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

天草医療圏の総人口は、2005年137902人が、2015年に117484人と15%減少し、2025年の人口が98972人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

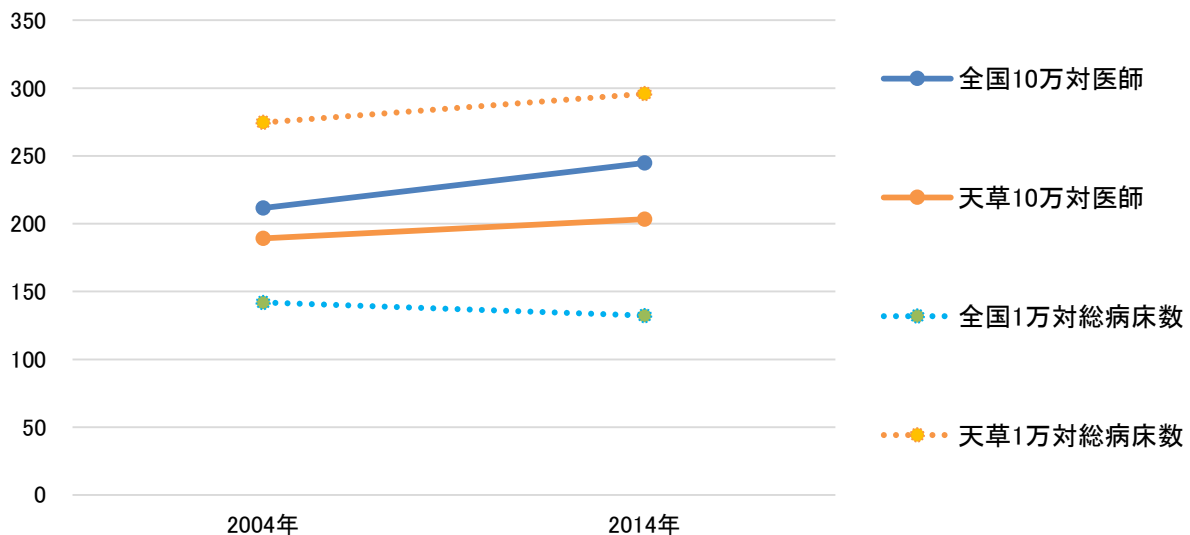
2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に18(人口10万人当たり15.3病院(全国平均6.7)偏差値71)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が113(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に105(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値56)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が3788床(人口1万人当たり275(全国平均142)偏差値74)であったが、2014年に3476床(人口1万人当たり296(全国平均132)偏差値79)と、312床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

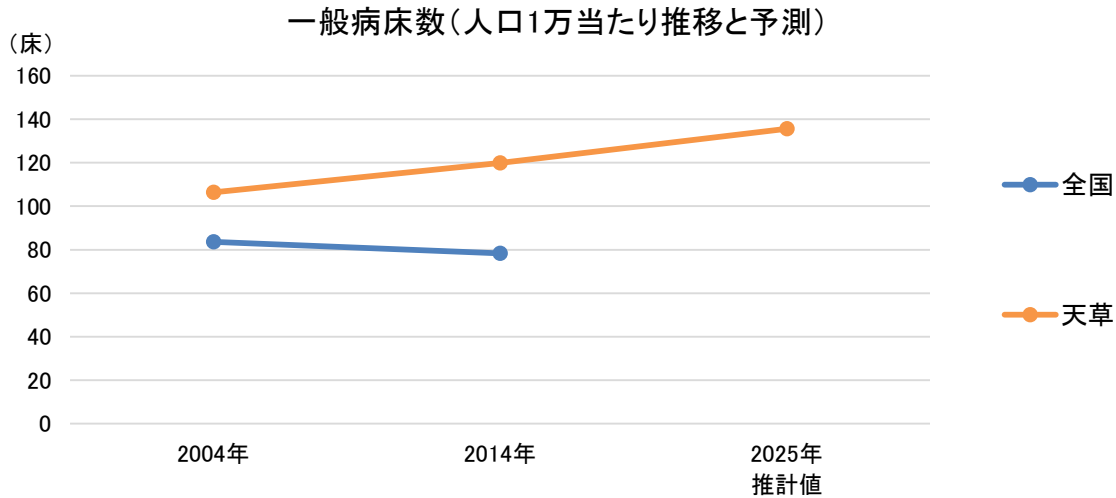
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が261人(人口10万人当たり189人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に239人(人口10万人当たり203人(全国平均245人)偏差値46)と、22人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



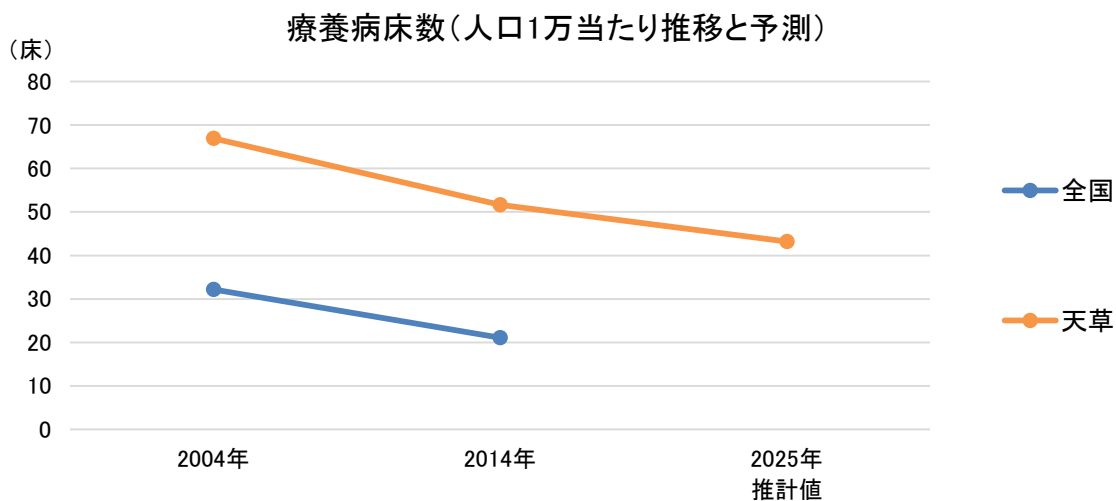
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1467床(人口1万人当たり106(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に1408床(人口1万人当たり120(全国平均78)偏差値65)と、59床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1343床(2025年の推計人口1万人当たり136)になることが予想される。



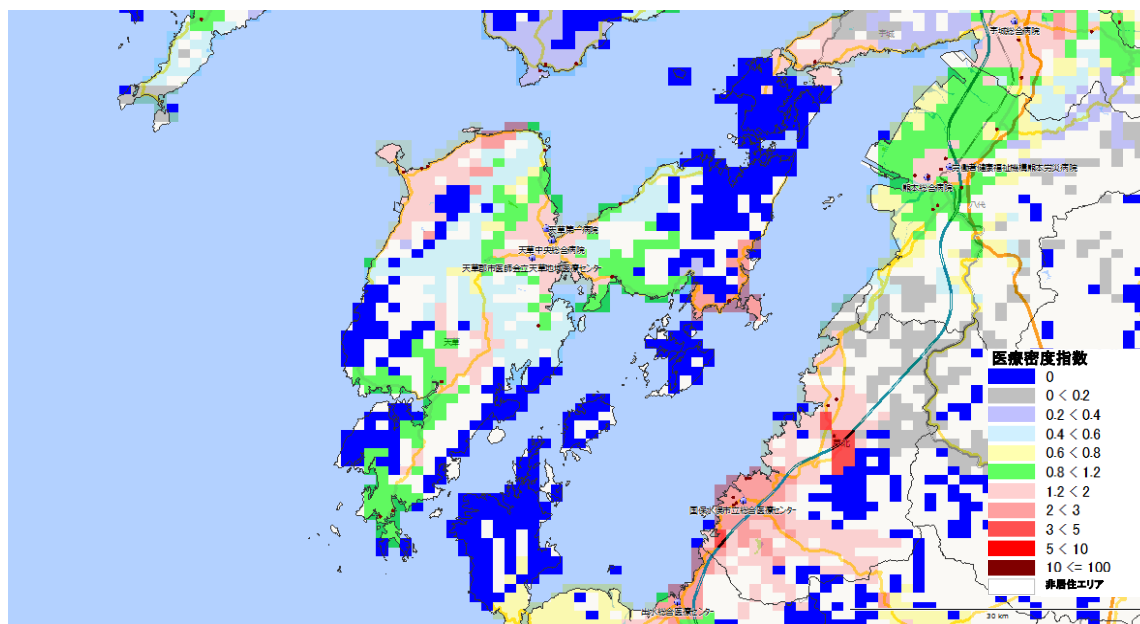
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1506床(75歳以上1000人当たり67(全国平均32)偏差値70)であったが、2014年に1309床(75歳以上1000人当たり52(全国平均21)偏差値76)と、197床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1092床(2025年の推計75歳以上1000人当たり43)になることが予想される。



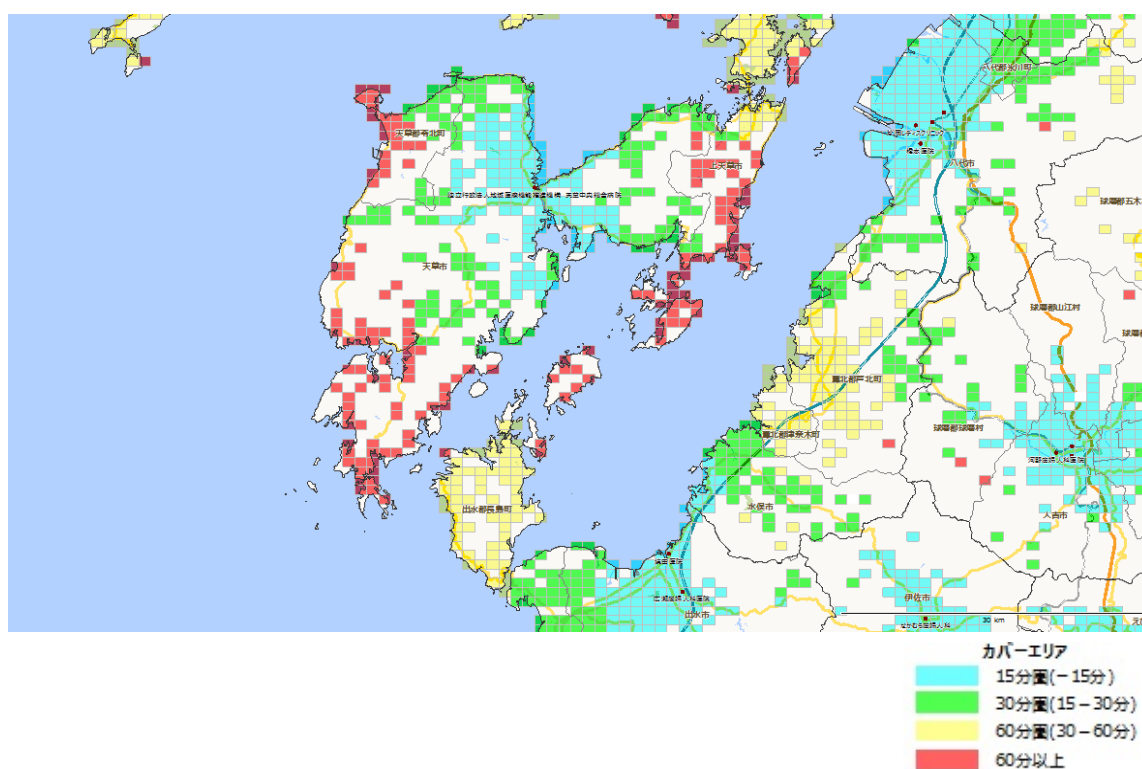
(天草医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表43-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表43-11-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。